



カスタムジャパン

エンジン式インバーター発電機

EcoMove 1800



取扱説明書

はじめに

このたびは、当社のインバーター発電機 EcoMove1800 をご購入いただき厚くお礼申し上げます。

本機を末永く安全にご利用いただくために、取扱説明書（本書）を十分お読みの上、ご使用ください。読み終えた取扱説明書は大切に保管し、いつでも参照できるようにしてください。

メーカーは、機械の用法、運転、点検、整備を直接監督指導することはできません。本書をお読みいただき、十分に理解をしていただいたうえで作業を行ってください。

なお、この取扱説明書で述べていることの他にも、作業によっては法令、条例、規則や保険条件などが適用されることがありますので十分ご注意ください。

また、仕様変更などにより本機と取扱説明書の内容が異なる場合もあります。あらかじめご了承ください。

⚠ 安全第一

この取扱説明書および本機には、安全にお使いいただくために次のような表示をしています。

表示の内容をよく理解してから本文をお読みください。

なお、ラベルが汚れている場合はせっけん水で洗い、柔らかい布で拭いてください。汚損や紛失したラベルは、お買い上げの販売店に注文し必ず所定の位置に貼ってください。ラベルが貼付されている部品を新部品と交換するときは、ラベルも同時に交換してください。

⚠ 危険	この表示の注意事項を守らないと、死亡または重傷を負うことになります。
⚠ 警告	この表示の注意事項を守らないと、死亡または重傷を負う危険性があります。
⚠ 注意	この表示の注意事項を守らないと、けがを負う危険性があります。
【重要】	この表示の注意事項を守らないと、機械の損傷や故障のおそれがあります。
【補足】	その他、使用上役立つ補足説明を示します。

安全にお使いいただくために

本機を安全に使用していただくために、作業前に以下の復唱と順守をお勧めしています。

- ① 作業開始前に仕業点検をします。
- ② 点検・整備はエンジンを止めて行います。
- ③ 作業は1人で行います。

この取扱説明書は安全に関する重要な情報が掲載されています。必ずよくお読みください。ご不明な点がございましたら購入した販売店へご相談ください。

● 警告と注意

警告

作業を始める前に	<ul style="list-style-type: none">● ご使用の前に、必ずこの取扱説明書をお読みください。本機を貸与または譲渡される場合は、取扱説明書も一緒にお渡しください。● 排気ガス中には、一酸化炭素などの有害な成分が含まれています。一酸化炭素中毒になると死に至る可能性もあり、たいへん危険です。ご使用になる方はもちろん、まわりの人や、動植物などにも十分ご注意ください。換気の悪い場所では使用しないでください。● 本機は間違った使い方をされた場合、感電の原因になる場合があります。本機や本機に接続した電気機器を雨水などの水で濡れた状態で使用したり、濡れた手で操作したりすると感電するおそれがあり危険です。雨の中や水のかかる場所では使用したり保管したりしないでください。
使用する方へ	<ul style="list-style-type: none">● ご使用の前に、必ずこの取扱説明書をお読みください。● 適切で具体的な指示や説明をせずに、本機を使用させないでください。● お子様は、本機から十分に安全が確保できる距離より近づかないようにしてください。また、お子様には操作させないでください。事故や故障の原因となります。● 本機はエンジン停止後であれば、ハンドル側にのみ横倒しにして保管できますが、エンジン稼働中は本機を傾けたり、移動したりしないでください。燃料タンクキャップやキャブレターから燃料がこぼれ、火災の原因となります。● 本機を横倒しにする際は、必ず燃料コックを【OFF】にしてください。● エンジン稼働中はケースカバーを取り外さないでください。インバーターやオルタネーター、またはその他の電気部品が熱により損傷する可能性があります。
排気ガスの危険	<ul style="list-style-type: none">● 排気ガス中には、一酸化炭素などの有害な成分が含まれています。一酸化炭素中毒になると死に至る可能性もあり、たいへん危険です。密閉された場所でエンジンを稼働させると短時間のうちに意識不明や死亡に至る危険があります。本機の使用は必ず換気の行き届いた場所で行ってください。

⚠ 警告

<p>感電の危険</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 雨や雪などで濡れた場所では使用しないでください。 ● 濡れた手で操作すると感電するおそれがあり危険です。 ● 本機は必ず接地（アース）をしたうえで使用してください。 ● 電気部品（線およびプラグ接続部も含む）は、欠陥品を使用しないでください。 ● 本機は電力会社の配線や電源に接続しないでください。特別な用途で接続する場合は、資格を所持した電気工事士に依頼してください。（ISO8528 に従い本機と電気機器の違いを考慮する必要があります。） ● 本機は機械的応力が大きいので、ゴムや可撓ケーブル（IEC 60245-4 による）、またはその同等品のみを使用してください。 ● 引出し線または移動配電網を用いるときの線の全長は、断面積が 1.5mm² の場合は 60m 以下、断面積が 2.5mm² の場合は 100m 以下としてください。
<p>火災や火傷の危険</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● ガソリンは非常に揮発性が高く、可燃性と爆発性があります。燃料を補給する際は、絶対に炎や火花を出さず、喫煙もしないでください。給油の際は必ずエンジンを停止し、高温を避けて換気の良い場所で作業を行ってください。 ● 運転中には燃料の補給はしないでください。発火の恐れがあります。 ● 燃料はこぼさないようにご注意ください。 ● 使用する前に、燃料漏れがないかを必ず確認してください。燃料が漏れている場合は、絶対に本機を使用しないでください。 ● 本機はエンジン停止後であれば、ハンドル側にのみ横倒しにして保管できますが、エンジン稼働中は本機を傾けたり、移動したりしないでください。燃料タンクキャップやキャブレターから燃料がこぼれ、火災の原因となります。 ● エンジン稼働中は、マフラーが大変熱くなります。露出した肌で触れないようにご注意ください。 ● エンジンの部品のなかには高温になり火傷を引き起こすものがあります。本機に表示している警告に注意してください。 ● 運転中はマフラーの近くに可燃物を置かないでください。 ● オーバーヒートする可能性があるので、本機を建物などから 1m 以上離してください。 ● 本機を室内に保管する場合は、エンジンを十分に冷やしてから保管してください。 ● エンジンの排気ガスには有毒な成分が含まれるので、換気が不十分な場所では本機を使用しないでください。本機を換気された部屋に据え付ける場合は、防火および防爆についての要求事項を確認してこれに従ってください。
<p>配線について</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 本機を屋内配線に取り付ける場合は、電気工事士の資格を持った方に依頼してください。 ● 電力会社の電気配線に本機を接続すると故障します。絶対に本機を接続しないでください。 ● 本機と他社の発電機を並列で接続しないでください。

⚠ 注意

● 作業前

服装など	<ul style="list-style-type: none"> ● だぶつきの無い活動的な服を着用し、保護マスク、保護メガネ、作業帽、不透過性の手袋、作業靴を着用してください。 ● ヘッドホンやイヤホンでラジオや音楽などを聴いていると、周りの音や異常に気づきにくい場合があります。作業中は使用しないでください。
仕業点検の実施	<ul style="list-style-type: none"> ● 本機を使用される前に、必ず以下の仕業点検を実施してください。不具合が発見された場合には、直ちに補修などの措置を講じてください。絶対に、不具合・異常のある状態で使用しないでください。 <ul style="list-style-type: none"> ① 各部の油量よおよび漏れの点検 ② 各部のボルト、ナットのゆるみ点検および増し締め ③ 各レバー類の動きが正常かどうかの点検 ④ 電気配線の点検など
暗所作業の禁止	● 暗い場所で作業をしないでください。周囲の安全確保が不完全になり、手元が見えにくくなる場合もあります。
作業者の限定	<ul style="list-style-type: none"> ● 以下に該当する人は、本機を操作できません。 酒気を帯びている・未成年・十分な知識を得ていない・過労、病気、薬物の影響などの理由により、正常な作業ができない・本書や注意ラベルの内容が理解できない
目的以外の使用の禁止	● 定められた目的以外の用途で使用すると、機械の安全性が損なわれます。
改造の禁止	● 本機の改造は危険ですので絶対に行わないでください。事故や故障の原因となります。
本機を貸与する場合	● 本機を他人に貸与する場合は取扱説明書を手渡し、操作方法や注意事項などをよく説明してください。また、借りた人が作業前に取扱説明書をよく読み、操作方法を十分理解してから作業を開始するように指導してください。
密閉室内での作業の禁止	● エンジンは有毒ガスを発散します。換気には十分注意してください。密閉した室内または換気の悪い場所で使用すると、排気ガスが空気を汚し、ガス中毒をおこす危険があります。
火気厳禁	<ul style="list-style-type: none"> ● 燃料の補給時、または潤滑油、オイルなどの給油・交換時は、エンジンを止めてください。また、火災や引火爆発のおそれがありますので、くわえタバコなどの火気は絶対に近づけないでください。 ● エンジンが高温になっていると、こぼれた燃料や潤滑油が高温部で着火する可能性があります。燃料やオイルなどはエンジンが冷えきってから補給してください。
火傷に注意	● エンジン稼働中または停止直後のエンジン・マフラーなどは、高温のため触れると火傷の危険があります。点検・整備などをおこなう場合は、エンジンの各部が十分に冷えてから（停止後30分以上）作業してください。

⚠ 注意

● 作業中

エンジン始動時	<ul style="list-style-type: none"> ● エンジンを始動する前に、必ず以下の点を確認してください。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 本機や作業員、足場などが雨や雪などで濡れていない。 ・ 本機の周囲に人がいない。 ・ エンジンの周囲に可燃物がない。 ・ リコイルスターターでエンジンを始動する場合、リコイルのロープを最大に引張ってさらにスペースがある。
異常を感じたとき	● 音や振動などで本機に異常を感じたときは、直ちにエンジンを停止し、点検・修理などの処置を適切に行ってください。
傾斜地での使用禁止	● 傾斜地での使用はたいへん危険です。本機は必ず水平で周囲の安全の確認できる場所で使用してください。
作業員のエンジン始動中の退出	● 作業員はエンジン稼働中に決して本機から離れないでください。離れる際は必ずエンジンを停止してください。

● 作業後

終了時点検の実施	● 作業終了後は本機を清掃し、次の作業の安全を確保するため、各部の点検を行ってください。異常があった場合は、補修などを行ってください。
本機の格納	● 本機を格納するときは、エンジンやマフラーなどの高温部分が冷えていることを確認し、燃えやすい物が近くにはない場所に格納してください。乾いた木片や薪などの燃えやすい物の近くに保管すると、火災の原因となり危険です。
点検・整備には適正な工具を使用する	● 点検・整備には適正な工具を使用してください。適正でない工具で点検・整備を行うと、作業中のけがや整備不良による事故の原因となります。
長期保管前の作業	● 本機を長期保管する際は、燃料タンク内の燃料とキャブレターの燃料を抜き取り、火気のない場所に保管してください。抜いた燃料は引火しやすく火災や爆発の危険があります。所定の燃料タンクなどに入れ保管し、購入後 1 カ月以内に使い切るようにしてください。

● 重要なラベルの位置

本機には安全についての注意喚起ラベルが貼ってあります。よく読み理解した上で、本機を正しく使用してください。

- ラベルが汚れている場合は、せっけん水で洗い、柔らかい布で拭いてください。
- 汚損や紛失したラベルはお買い上げの販売店に注文し、所定の位置に貼ってください。
- ラベルが貼付されている部品を交換するときは、ラベルも同時に交換してください。
- 新しいラベルを貼る場合は、古いラベルを剥した後で貼付け面の汚れを完全にふき取り、乾いた後に元の位置に貼ってください。

▲ 警告

発電機を停止する前に、以下の手順に従ってください。

1. 燃料コックをオフにする。
2. 燃料キャップをしっかし閉鎖する。
3. 燃料キャップのつまみをオフにする。

▲ ご注意

指定の点火プラグ以外は使用しないでください。

ご使用前に、カバーを開いてバッテリーコネクタを接続してください。

充電

初めて使用する前に、セルスタートバッテリー用充電コードでセルスタートバッテリーを充電するか、リコイルスターターを使用して本機を始動してください。保管中は、少なくとも3ヶ月ごとにバッテリーを充電してください。

0.35L 4ストローク用エンジンオイル

SAE 10W-30/40 API SF/CF/CF2以上

型式番号: EM1800Wi Pro Tools 携帯発電機

相	単相	DC出力	12V/8A
AC定格電圧	100V	USB出力	5V/2A/1A
AC定格電流	18A	力率	1.0
AC定格周波数	50/60Hz	本体質量	26kg
AC定格出力	COP 1.5kW	IP等級	IP23M
AC最大出力	MAX 2.1kW	性能等級	G2
燃料	ガソリン	品質等級	A

SER.No. 製造年:2024

この発電機は50Hz/60Hz切り替え式です。工場出荷時は50Hzにセットされています。60Hzの地域の方は、取扱説明書を参照いただき、60Hzにセットしてご使用ください。

Wi-Fi スマートフォンアプリ「Gen-mate」対応

▲ ご注意

始動する前にエンジンオイルを入れてください。このエンジンは工場出荷時にエンジンオイルが充填されていません。

▲ 警告

発電機を傾けたり移動させたりする際は、必ず燃料コックをOFFにしてください。

引いてロック解除

※反対側も同様

※反対側も同様

※反対側も同様



無鉛ガソリンをお使いください
給油の前に必ずエンジンを停止して
ください。
灯油・軽油・混合燃料は絶対に使用
しないでください。



▲ 警告

- ご使用前に、取扱説明書とラベルをよくお読みください。
- 換気の悪い部屋では使用しないでください。排気ガスには有毒な一酸化炭素が含まれています。
- 電氣的危険を避けるため、本機を接地（アース）してください。
- 本機を濡らさないでください。本機を雨のかかる場所や湿気の多い場所に置かないでください。
- 給油の前にエンジンを停止してください。毎回使用する前に、燃料漏れやこぼれた燃料がないか、確認してください。発電機から燃料が漏れている場合は、絶対に使用しないでください。可燃物の近くで使用しないでください。

▲ 危険

室内で発電機を使用すると、数分で死に至る可能性があります。発電機の排気ガスには、無色無臭の有毒な一酸化炭素が含まれています。

扉や窓が開いていても、室内やガレージの中では絶対に使用しないでください。

扉や窓などの通気口から離れた屋外でのみ使用してください。

▲ 警告

リコイル側を下にした場合のみ覆かせることができます。

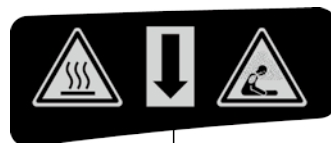
始動する

- オイル
- 燃料
- 燃料コック ON
- 燃料コック OFF
- ON
- オートエンジンスイッチ
- リコイルスタート
- セルスタート (オプション)

停止する

- エンジンスイッチ OFF
- 燃料コック OFF
- エンジンスイッチ OFF

CE LWA 92 dB



もくじ

■はじめに	1	メンテナンスについて	37
■安全にお使いいただくために	2	エンジンオイルを交換する	38
警告と注意	2	エアクリーナーを清掃する	39
重要なラベルの位置	6	点火プラグを点検・交換する	40
■もくじ	8	スパークアレスターを点検する	41
■ご使用の前に	9	燃料タンクフィルターを清掃する	42
点検と準備	9	■トラブルシューティング	43
■各部の説明	12	エンジンに関するトラブル一覧	43
本体	12	エンジンが始動できないとき	45
コントロールパネル	13	エンジンが正常に動作しないとき	46
■使いかた	14	エンジンの回転数が安定しないとき	46
エンジン始動前のご注意	14	直流電源が出力されないとき	47
エンジン始動前の点検	14	ドレインホースから燃料が漏れるとき	47
エンジンを始動する	17	■本機の仕様	48
エンジンを停止する	18	■環境補正	49
交流電源として使う	19	■サービス・製品保証	50
直流電源として使う	20	製品保証について	50
セルスタート用バッテリーを充電する	22	ご相談窓口について	50
2台並列で使う	24	梱包内容について	50
移動と運搬	25		
スマートフォンアプリ (Gen-mate) を使う	27		
■使用後のご注意	31		
■運搬と保管について	32		
エンジンを冷やす	32		
キャブレターからガソリンを排出する	32		
■長期保管について	34		
長期保管の際のご注意	34		
長期保管の際のメンテナンス	34		
燃料タンクからガソリンを排出する	34		
■メンテナンス	37		

ご使用前に

● 点検と準備

ご使用前に、周囲の安全を確保してください。事前の確認により、けがや事故の危険性が大幅に軽減できます。本書をよく読んで備えてください。

■ 本体を点検する

本機を安全に末永く使用していただくためには事前のチェックがとても重要です。使用前に修理箇所や問題が見つかった場合はすぐに販売店に修理を依頼してください。また、9 ページの「ご使用前に」と50 ページの「梱包内容について」を確認し、不備や不足がないかを確認してください。

⚠ 警告

- 作業前に事前チェックを行ってください。本機を不適切に管理・保管したり修理を行わなかったりすると、使用者のけがや事故、または重大な故障や破損を引き起こす可能性があります。
- 本書に記載している使用前点検・使用後のメンテナンスが適切に行われていない場合の故障や不具合については、保証期間内でも保証対象外となります。

⚠ 注意

- エンジン始動前に必ずエンジンオイルを規定量まで補充してください。
 - ・ 本機の発送時には、エンジンオイルは入っておりません。使用する前にエンジンオイルを入れてください。
 - ・ 推奨エンジンオイル：4 ストローク用エンジンオイル，SAE10W-30 or 10W-40,API SE/SF/SG/SH/SJ 以上
 - ・ エンジンオイル量：0.35L

■ エンジンオイルを入れる

本機を使用する際、エンジンオイルが規定量に満たない場合は補充を行ってください。

⚠ 危険

- エンジンが稼働している際は、エンジンオイルが高温になっている場合があります。火傷の危険があります。エンジンオイルの点検は必ずエンジンが冷えた状態で行ってください。
- ガソリンは非常に揮発性が高く、可燃性と爆発性があります。燃料を補給する際は、絶対に炎や火花を出さず、喫煙もしないでください。給油の際は必ずエンジンを停止し、高温を避けて換気の良い場所で作業を行ってください。
- 燃料タンク給油口の赤いレベルゲージを上限とし、それ以上は給油しないでください。ガソリンがあふれる可能性があります。
- 使用する前に、燃料漏れがないかを必ず確認してください。燃料が漏れている場合は、本機を絶対に使用しないでください。
- こぼれたガソリンは清潔で乾いた柔らかい布ですぐに拭き取ってください。そのままにしておくと、塗装面やプラスチック部品が劣化する可能性があります。こぼれた燃料による損傷はメーカー保証の対象外です。

- 作業前に事前チェックを行ってください。本機を不適切に管理・保管したり修理を行わなかったりすると、使用者のけがや事故、または重大な故障や破損を引き起こす可能性があります。
- ガソリンを補給する場合は、必ず燃料口の給油フィルターを通してください。

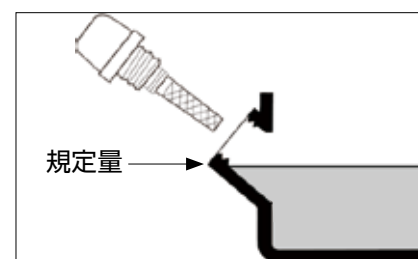
⚠ 注意

- エンジンオイルレベルを規定量に保つようにしてください。多すぎても少なすぎても、エンジン寿命が短くなります。
- エンジンオイルは使用すると燃焼して量が減ったり汚れたりしていきます。定期的に交換・充填を行うようにしてください。
- オイルレベルが下限より下回ると、エンジンは自動的に停止します。
- エンジンが停止するとオイル警告ランプ(黄色)が点灯し、オイルを補充するまで再始動できなくなります。

① 本機が水平になっていることを確認する。



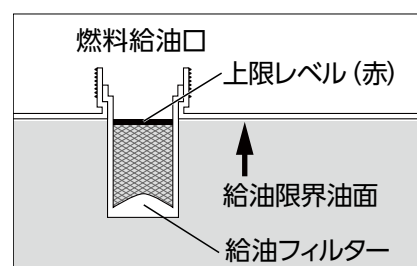
- ② オイルメンテナンスカバーを開き、オイルキャップを取り外す。
- ③ オイルキャップを再度差し込んで引き抜き、オイルの量を確認する。
- ④ 必要に応じて規定量まで注油する。



- ⑤ オイルキャップを締め、オイル漏れがないことを確認する。
- ⑥ オイルメンテナンスカバーを取り付け、閉じる。

■ 燃料を点検する

燃料給油キャップを外し、燃料のガソリンがあるか点検します。
少ない場合は補給してください。



■ 燃料を補充する

燃料のガソリンが足りていない場合は補充を行います。

⚠ 注意

- 必ず無鉛レギュラーガソリンを補充してください。高濃度アルコール含有燃料など他の燃料を補充すると、エンジンや燃料などを損傷する原因となります。
- 2サイクルエンジンの混合燃料は絶対に使用しないでください。

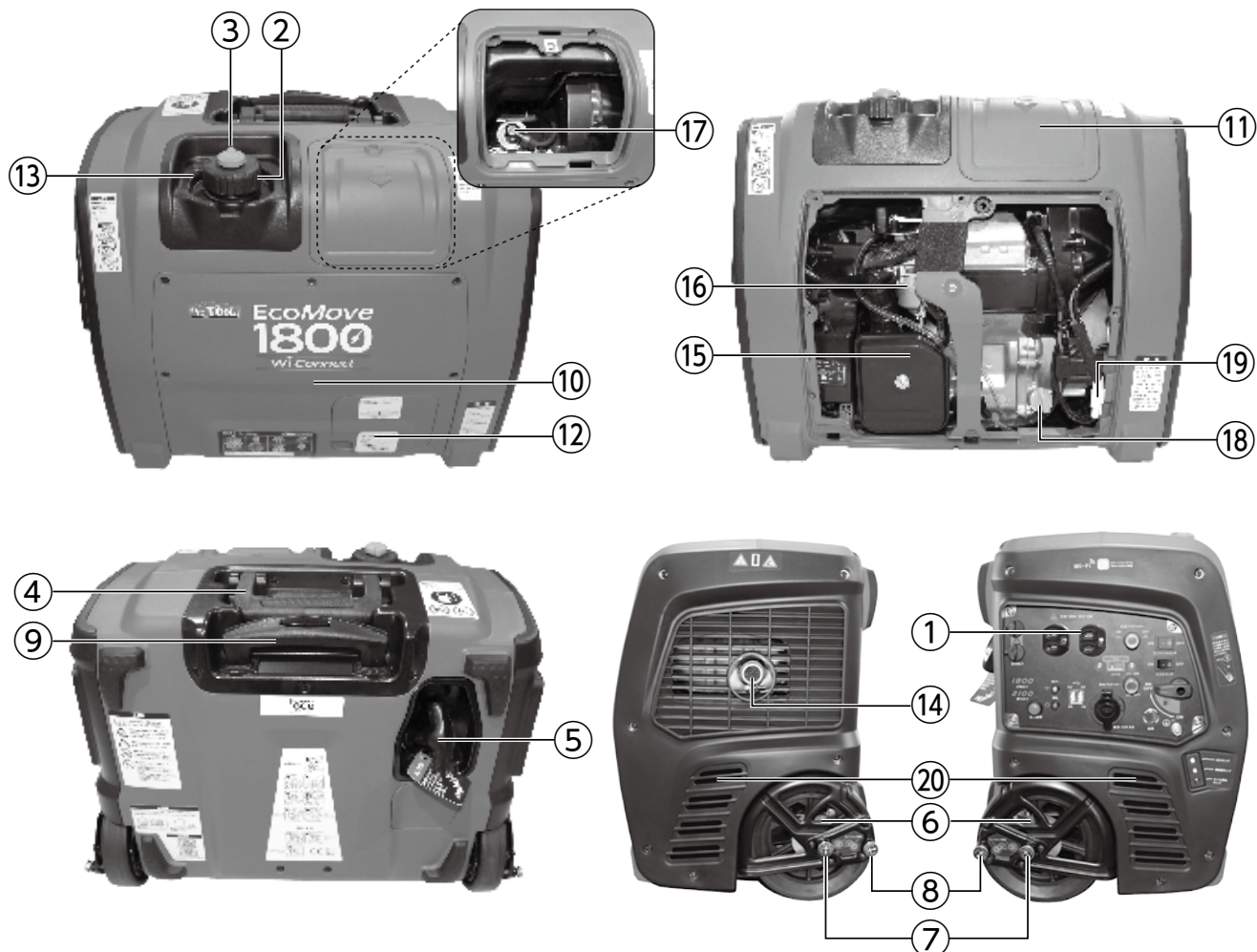
- ① 本機が水平になっていることを確認する。



- ② 燃料キャップを外し、ガソリンの量を確認する。
ガソリンの量は燃料計でも確認することができます。
赤色マークが「E」位置に近い場合は、燃料タンク内の燃料レベルが低いことを意味します。
赤色マークが「F」位置に近い場合は、燃料タンク内の燃料レベルが高い（給油口の赤いレベル＝給油の上限に近い）ことを意味します。
- ③ ガソリンを補充する。
給油フィルターの赤いレベルまで給油してください。
こぼれたらすぐに拭き取ってください。
- ④ 燃料キャップを確実に締付ける。
漏れがないことを確認してください。燃料が古かったり汚れがひどい場合は、清掃もしくは新しいものと交換してください。

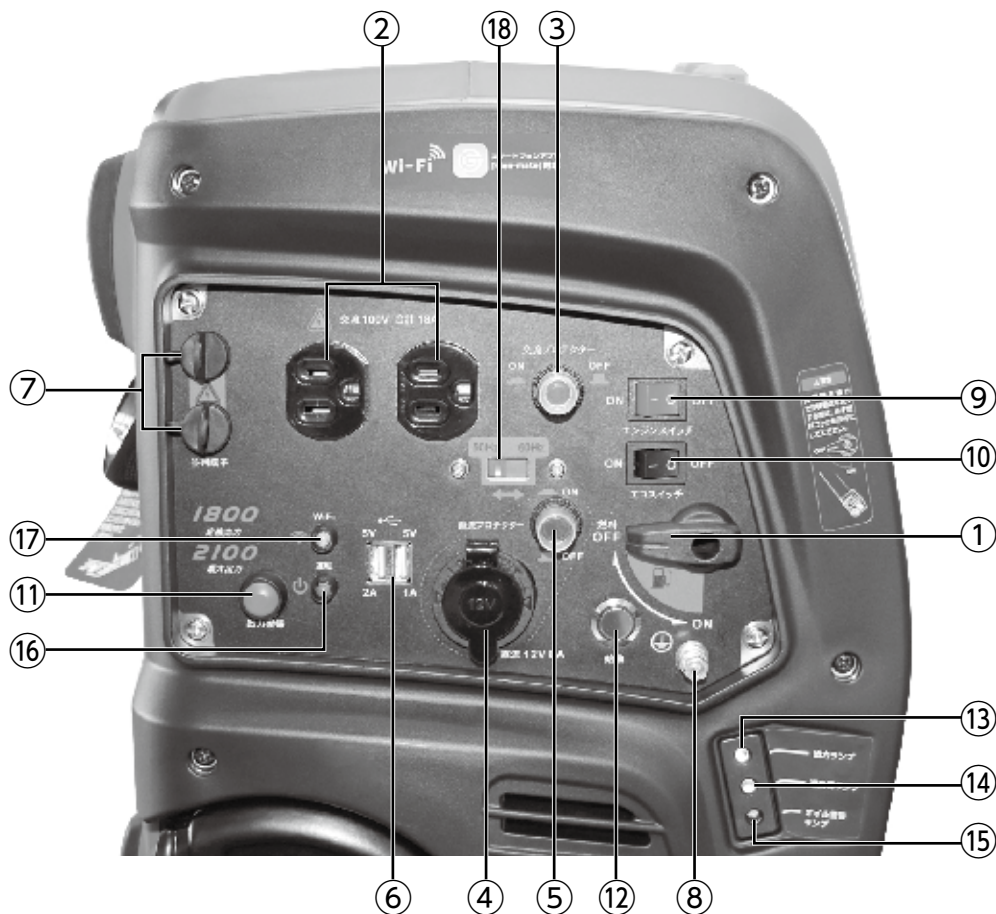
各部の説明

● 本体



- ① コントロールパネル：次ページ参照
- ② 燃料キャップ：燃料を入れる際に開け閉めします。
- ③ 燃料キャップつまみ：燃料タンク内と外気との通気を行います。
- ④ ハンドル：本機を持ち上げる時につかみます。
- ⑤ 始動グリップ：エンジンを始動する時につかみます。
- ⑥ 車輪：本機を移動する際に使用します。
- ⑦ タイヤロック：タイヤをロックします。
- ⑧ タイヤロック：タイヤをロックします。
- ⑨ 牽引ハンドル：本機を移動する際に伸ばします。
- ⑩ メンテナンスカバー：開けるとエアフィルター、キャブレター、エンジンオイル注油口があります。
- ⑪ 点火プラグメンテナンスカバー：開けると点火プラグの確認・交換ができます。
- ⑫ オイルメンテナンスカバー：オイルを交換する注油口があります。
- ⑬ 燃料計：燃料の残量を確認ができます。
- ⑭ マフラー：エンジン排気の音量を下げます。
- ⑮ エアクリナー：エンジンが吸い込む空気をきれいにします。
- ⑯ キャブレター：エンジンにガソリンと空気の混合気を供給します。
- ⑰ 点火プラグ／プラグキャップ：エンジン内の混合気に点火します。
- ⑱ オイルキャップ：オイルを入れる際に開け閉めします。
- ⑲ バッテリーコネクター：セルスターターとバッテリーを接続します。
- ⑳ エア取入口：空気を取り入れることでエンジンなどを冷却します。

● コントロールパネル



- | | |
|---|---|
| ① 燃料コック：燃料の供給を【ON】【OFF】にします。 | ⑫ スタートボタン：エンジンを始動します。 |
| ② 交流コンセント：交流電流を出力します。 | ⑬ 出力ランプ (緑)：電力が発電されていると点灯します。 |
| ③ 交流プロテクター：交流出力のブレーカー。交流出力回路が過負荷になると回路を遮断します。 | ⑭ 過負荷ランプ (赤)：使われる電力が多く過負荷になる、または直流コンセントがショートした場合に点灯します。電力供給が数秒で停止になります。 |
| ④ 12V 直流コンセント：直流電流を出力します。 | ⑮ オイル警告ランプ (黄色)：エンジンオイル量が最低限の量を下回ると点灯し、自動的にエンジンが停止します。エンジンオイルを補充しないと、再始動はできません。 |
| ⑤ 直流プロテクター：直流出力のブレーカー。12V 出力回路が過負荷になると回路を遮断します。 | ⑯ Gen-mate 運転ランプ：Gen-mate ユニットが正常に動作しているときに点灯します。 |
| ⑥ USB ポート：5V 直流電流を出力します。 | ⑰ Wi-Fi ランプ：スマートフォンとの Wi-Fi で接続時に点滅します。 |
| ⑦ 並列運転端子 (オプション)：本機 2 台を接続するための並列コンセント (オプション) を差し込みます。 | ⑱ 周波数切り替えスイッチ：必要に応じて周波数を切り替えます。 |
| ⑧ アース端子：本機を地面にアースします。本機に接続した機器をアースする際は、本機も必ずアースしてください。 | |
| ⑨ エンジンスイッチ：エンジンを【ON】【OFF】にします。 | |
| ⑩ エコスイッチ：使用する発電量に応じてエンジン回転数を調整し、音や燃費を低減します。 | |
| ⑪ リセットボタン：過負荷などで発電が停止された際に電気を再供給します。 | |

使いかた

● エンジン始動前のご注意

エンジンを始動する前に、必ず以下の重要点・注意点を確認してください。下記注意事項を守られていない場合の故障、不具合、事故等については保証の対象外となります。

⚠ 警告

- エンジンを始動する際は、必ずエンジンオイルが正しく充填されているかを確認してください。充填が不十分な状態で始動すると、エンジンが焼き付いて重大な故障となります。
- 本機から排出される排気ガスには有害な物質を含んでいます。エンジンを始動する際は必ず屋外の換気の良い場所で行い、本機のマフラーが作業や周囲の人に向かないように注意してください。

⚠ 注意

- 燃料を補給するときは、必ずエンジンを停止し、エンジンやマフラーが冷えてから行ってください。
- エンジン稼働中は、マフラーが大変熱くなります。露出した肌で触れないようにご注意ください。
- 本機の近くに火気類を近づけないでください。
- ヘッドホンやイヤホンでラジオや音楽などを聴いていると、周りの音や異常に気づきにくい場合があります。作業中は使用しないでください。

■ エンジン始動前の確認事項

以下の項目を確認し、本機を安全に使用してください。

- ① エンジンオイルの量を確認する
- ② 購入 1 カ月以内の新鮮な燃料が適量充填されているかを確認する
- ③ 周囲の安全を確認する

● エンジン始動前の点検

■ エンジンオイルを点検する

使用する前に、本機を平らな場所に置いてエンジンオイルを確認してください。

⚠ 危険

- エンジンが稼働している際は、エンジンオイルが高温になっている場合があります。火傷の危険があります。エンジンオイルの点検は必ずエンジンが冷えた状態で行ってください。

⚠ 注意

- エンジンオイルレベルを規定量に保つようにしてください。多すぎても少なすぎても、エンジン寿命が短くなります。

- エンジンオイルは使用すると燃焼して量が減ったり汚れたりしていきます。定期的な交換・充填を行うようにしてください。
- オイルレベルが下限より下回ると、エンジンは自動的に停止します。
- エンジンが停止するとオイル警告ランプ（黄色）が点灯し、オイルを補充するまで再始動できなくなります。

推奨オイル

4 ストローク用エンジンオイル

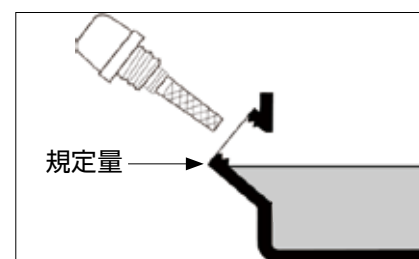
SAE 10W-30 or 10W-40, API SE/SF/SG/SH/SJ 以上

点検のしかた

- ① 本機が水平になっていることを確認する



- ② オイルメンテナンスカバーを開き、オイルキャップを取り外す
- ③ オイルキャップを再度差し込んで引き抜き、オイルの量を確認する。
- ④ 必要に応じて規定量まで注油する。



- ⑤ オイルキャップを締め、オイル漏れがないことを確認する。
- ⑥ オイルメンテナンスカバーを取り付け、閉じる。

燃料を点検する

使用する前に、本機を平らな場所に置いて燃料を確認してください。

警告

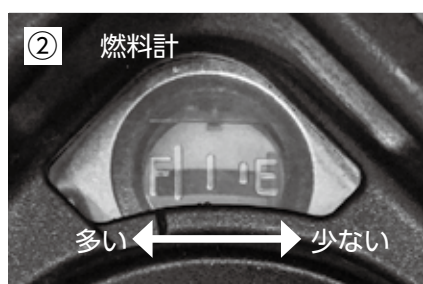
- ガソリンは非常に揮発性が高く、可燃性と爆発性があります。燃料を補給する際は、絶対に炎や火花を出さず、喫煙もしないでください。給油の際は必ずエンジンを停止し、高温を避けて換気の良い場所で作業を行ってください。
- 燃料タンク給油口の赤いレベルゲージを上限とし、それ以上は給油しないでください。ガソリンがあふれる可能性があります。

- 使用する前に、燃料漏れがないかを必ず確認してください。燃料のガソリンが漏れている場合は、絶対に本機を使用しないでください。

⚠ 注意

- 必ず無鉛レギュラーガソリンを補充してください。高濃度アルコール含有燃料など他の燃料を補充すると、エンジンや燃料などを損傷する原因となります。
- 2サイクルエンジンの混合燃料は絶対に使用しないでください。

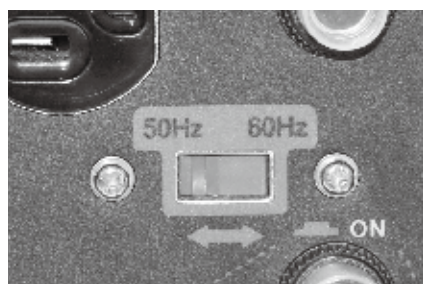
- ① 本機が水平になっていることを確認する。



- ② 燃料キャップを外し、ガソリンの量を確認する。
ガソリンの量は燃料計でも確認することができます。
赤色マークが「E」位置に近い場合は、燃料タンク内の燃料レベルが低いことを意味します。
赤色マークが「F」位置に近い場合は、燃料タンク内の燃料レベルが高い（給油口の赤いレベル＝給油の上限に近い）ことを意味します。
- ③ ガソリンを補充する。
給油フィルターの赤いレベルまで給油してください。
こぼれたらすぐに拭き取ってください。
- ④ 燃料キャップを確実に締付ける。
漏れがないことを確認してください。燃料が古かったり汚れがひどい場合は、清掃もしくは新しいものと交換してください。

■ 周波数を切り替える

エンジンを始動する前に、接続する電気機器に合わせて周波数を切り替えます。
コントロールパネルの周波数スイッチで 50Hz ⇄ 60Hz を切り替えてください。



● エンジンを始動する

準備が整いましたら、発電のためにエンジンを始動してください。

⚠ 危険

- エンジンを始動する際は、始動前に必ず 14 ページの「エンジン始動前のご注意」を確認してください。適切な手順で始動されない場合、事故やケガ、故障の原因となります。
- 排気ガス中には、一酸化炭素などの有害な成分が含まれています。一酸化炭素中毒になると死に至る可能性もあり、たいへん危険です。密閉された場所でエンジンを稼働させると短時間のうちに意識不明や死亡に至る危険があります。本機の使用は必ず換気の行き届いた場所で行ってください。

⚠ 注意

- 始動グリップを引いた際、反動で始動グリップと本体がぶつからないように注意してください。けがや本機の損傷の原因となります。
- 始動グリップを引く際、周囲の人や物にぶつからないように注意してください。
- 電動セルスターターには過熱センサーが付いており、エンジンが異常に高温になると自動停止します。

- ① 本機が水平になっていることを確認する
- ② 本機の交流コンセントに接続されているすべての電気製品の電源を切るか、または取り外す。
- ③ 電動セルスターターを使用する場合は、オイルメンテナンスカバーを開いてバッテリーコネクタを接続する。



④ 燃料キャップのつまみレバーを【ON】にする。



⑤ 燃料コックを【ON】にする。



⑥ エンジンスイッチ (赤) を【ON】にする。



⑦ エコスイッチ (黒) を【OFF】にする。

- ⑧ エンジンを始動する。

【リコイルスターターで始動する場合】

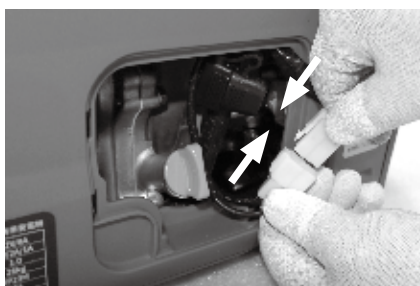
始動グリップが少し重みを感じるまでゆっくり引き、その後素早く引いてください。

【電動セルスターターで始動する場合】

電動セルスタートボタンを奥まで押しこみ、ゆっくりボタンから手を離してください。

【補足】

- セルスタート用バッテリーの充電は、付属の充電コードを使用し、家庭用コンセントと繋げて行ってください。(22ページの「セルスタート用バッテリーを充電する」を参照)



● エンジンを停止する

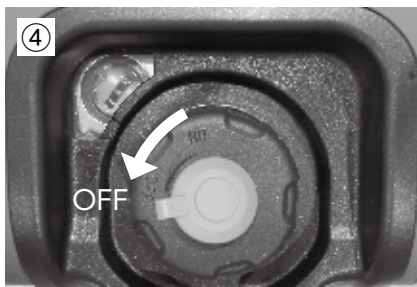
作業が終わりましたら、エンジンを停止してください。

⚠ 警告

- 本機を移動または室内に保管する場合は、エンジンを十分に冷やしてから移動または保管してください。
- エンジンを冷やす前に燃料キャップのつまみレバーを【OFF】にしないでください。エンジンを十分に冷やしてから【OFF】にしないと、燃料タンク内の圧力によってタンクが潰れてしまう可能性があります。



- ① 本機の交流コンセントに接続されているすべての電気製品の電源を切るか、または取り外す。
- ② 燃料コックを【OFF】にする。
- ③ エンジンスイッチ (赤) を【OFF】にする。



- ④ エンジンを十分に冷ましてから燃料キャップを閉じ、燃料キャップのつまみレバーを【OFF】にする。

● 交流電源として使う

一般的な電気製品は交流電流を使用します。ここでは交流電流の出力について説明します。

■ 交流電流を出力する

エンジンを始動して2～3分経つと、本機を交流の電源として使用することができます。

⚠ 警告

- 交流電圧は非常に高く、感電すると非常に危険です。濡れた手では絶対に操作しないでください。
- 適切で具体的な指示や説明をせずに、本機を使用させないでください。
- お子様には操作させず、できるだけ本機に近づけないようにしてください。
- 本機や本機に接続した電気製品は、必ず接地（アース）をしたうえで使用してください。

⚠ 注意

- 電動セルスタートでエンジン始動する場合は、あらかじめバッテリーコネクタを接続してください。
- コンプレッサーや高い電気負荷など、大きな始動電流を必要とする電気製品を使用する場合は、エコスイッチを【OFF】にしてください。
- 本機に接続する前に、電源コードやコンセントの接続を含むすべての電気機器が問題のない状態であることを確認してください。
- 電気製品の合計負荷が発電機定格出力内であることを確認してください。
- マルチタップなどのコンセントの負荷電流がコンセントの定格電流内であることを確認してください。
- 定格出力をオーバーした場合、3秒間だけ2.1kVAを出力します。
- 本機の出力が定格電力を超えて過負荷となった場合、または接続された製品にショートがある場合は、過負荷ランプ（赤）が点灯し、接続されている電気製品の電気が遮断され、出力ランプ（緑）が消灯します。
- 過負荷やショートで発電を停止した際にリセットボタンを押すと、エンジンを再始動することなく出力を元に戻すことができます。リセットボタンを押す前に、過負荷の原因を取り除いてください。エンジンを停止して問題を解決してください。
- 電気モーターを使った製品を使用すると過負荷ランプ（赤）が点灯することがありますが、本機の動作が正常であればすぐに消灯します。



- ① 出力ランプ (緑) が点灯していることを確認する。
- ② エコスイッチを【ON】の位置にする。
接続された電気製品の負荷に応じてエンジンの回転数を制御し、燃費向上と騒音を削減します。
- ③ 電気製品のコンセントを本機の交流コンセントに接続する。
- ④ 本機に接続した電気製品の電源を入れる。

● 直流電源として使う

自動車などのバッテリーは直流電流を使用します。ここでは直流電流の出力について説明します。

■ 直流電流を出力する

ここでは例として直流バッテリーの充電について説明します。

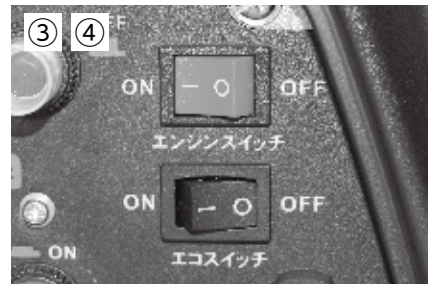
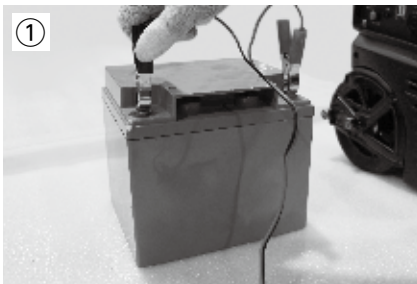
⚠ 警告

- 充電中は火気、火花等を避け、喫煙、バッテリーの切断などは絶対にしないでください。火花がバッテリーのガスを引火させる可能性があります。
- バッテリー充電中は爆発性の水素ガスを排出します。十分な換気を行ってください。
- バッテリーを取り扱う際は、保護メガネと手袋を着用してください。電解液は非常に腐食性の高い硫酸溶液で重度の火傷を引き起こす可能性があります。皮膚、目、衣服との接触をさけてください。

⚠ 注意

- 充電ケーブルを交流コンセントに接続しないでください。直流の電圧は非常に高く、作業者が感電する危険性があります。
- 本機の直流コンセントは、12V バッテリーとセルスタート用バッテリーの充電のみに使用してください。
- 充電中はバッテリーを過充電しないようご注意ください。充電中は無人にならないようにしてください。
- ケーブルが本機に接続されている間は赤と黒のクリップを離して接触しないようにしてください。
- バッテリー端子をクリップに接続する際は、+と-を逆にしないでください。本機とバッテリーに深刻な損傷が発生する可能性があります。
- 直流回路に過負荷または配線に問題があった場合、直流プロテクターが作動します (PUSH ボタンが伸びます)。この場合は数分待ってから直流プロテクターのボタンを【ON】にして操作を再開してください。直流プロテクターが再び【OFF】になる場合は、充電を中止して購入された販売店までご連絡ください。

● 充電する



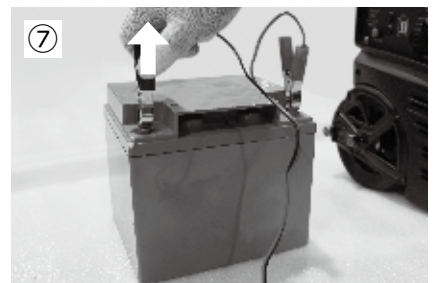
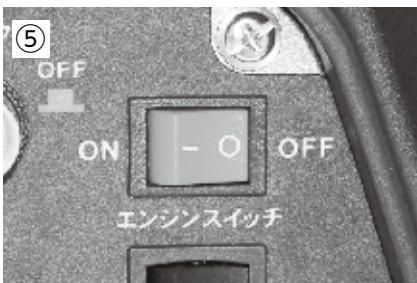
- ① 充電ケーブルの赤いクリップをプラス (+) のバッテリー端子に、黒いクリップをマイナス (-) のバッテリー端子に接続する。
- ② 充電ケーブルを本機の直流コンセントに接続する。
- ③ エコスイッチ (黒) を【OFF】にする。
- ④ エンジンスイッチ (赤) を【ON】にする。
バッテリーが充電されます。

【補足】

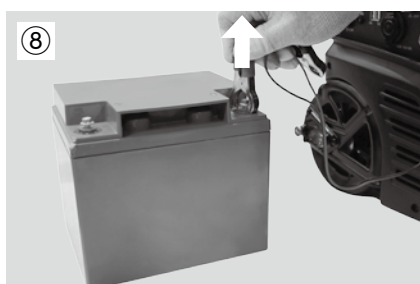
- 充電時間はバッテリーのサイズと状態により異なります。直流プロテクターはバッテリーの過充電を防ぐ事はできません。
- 12V バッテリー充電コードとセルスタート用バッテリー充電コードは、バッテリーまたは家庭用コンセントに接続して通電すると赤く点灯します。



● 充電が終わったら



- ⑤ バッテリーが完全に充電できたら、エンジンスイッチを【OFF】にしてエンジンを停止する。
- ⑥ 本機の直流コンセントから充電ケーブルを取り外す。
- ⑦ 充電ケーブルの黒いクリップをマイナス (-) のバッテリー端子から取り外す。



⑧ 充電ケーブルの赤いクリップをプラス (+) のバッテリー端子から取り外す。

● セルスタート用バッテリーを充電する

セルスタートを使用する際は、本機内蔵のセルスタート用バッテリーを使用します。セルスタート用バッテリーは、セルスタート用バッテリー充電コードを使って充電してください。

■ セルスタート用バッテリー充電コードについて

⚠ 危険

- 充電器の修理は専門家に依頼し、分解・改造などはしないでください。充電器の内部は高電圧となっており、感電の恐れがあります。

⚠ 警告

- 充電器は屋内でのみ使用してください。湿気の多い場所や高温の場所では使用しないでください。
- この充電器は EcoMove1800 専用です。他の機器や本来と異なる目的には使用しないでください。使い方を誤ると想定外の危険があります。

セルスタート用バッテリーは、以下のコンセントプラグとシガーソケットを使った専用コードで充電します。



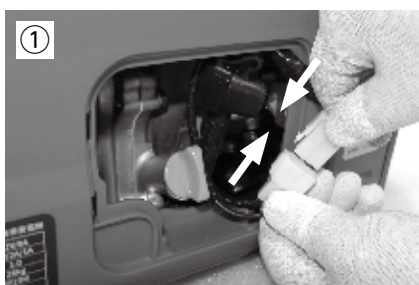
入力	AC 100-240V 50/60Hz 0.2A Max
最大出力	5.6W
出力	DC 14.0V ± 0.5V、0.4 ± 0.05V
充電時間	5 ~ 8 時間
使用温度	- 10℃ ~ +40℃

■ 充電する

⚠ 注意

- 接続前に本書をよくお読みいただき、無理な接続をしないでください。けがや故障、出力端子の正極と負極の反転などの不具合の原因となります。

- 充電中に煙・焦げ臭、またはその他の異常な状態が見つかった場合は、ただちに充電コードを本体とコンセントから抜いてください。
- 本機を長期間使用しない場合は、セルスタート用バッテリーを3カ月ごとに充電をしてください。充電を行わずに放置すると、セルスタート用バッテリーの残量がなくなり、セルスターターが正常に機能しなくなります。また、適切に充電すると、バッテリーが長持ちしやすくなります。
- コンセントプラグを外してシガーソケットを本体に接続したままにしておくと、セルスタート用バッテリーの消耗や劣化が早くなります。
- セルスタート用バッテリーは消耗部品です。いかなる理由があっても保証の対象にはなりません。



- ① オイルメンテナンスカバーを外し、セルスタート用バッテリー充電コードと本機のバッテリーコネクタを接続する。
- ② コンセントプラグを家庭用のコンセントに接続する。
- ③ セルスタート用バッテリー充電コードのシガーソケット側を本機の12V 直流コンセントに接続する。
 - ・ 充電が始まります。
 - ・ バッテリー残量が少ない状態からフル充電までの所要時間は5～8時間が目安です。
- ④ 充電時間が8時間を過ぎたら、本体側からセルスタート用バッテリー充電コードを抜く。

【補足】

- セルスタート用バッテリー充電コードは、バッテリーまたは家庭用コンセントに接続して通電すると赤く点灯します。



■ セルスタート用バッテリー充電の所要時間とタイミング

- 充電の初期段階では、定電流モードで充電されます。8時間以内に充電は完了します。
- 本機を3カ月以上使用しなかった、または使用時間が2時間未満だった場合は、充電を行ってください。
- 充電終了後は充電プラグを必ず抜いてください。

● 2 台並列で使う

本機は 2 台並列で運転をすることで総出力電力を 3.6kW に増やすことができます。並列運転には並列運転キット（オプション）が必要です。

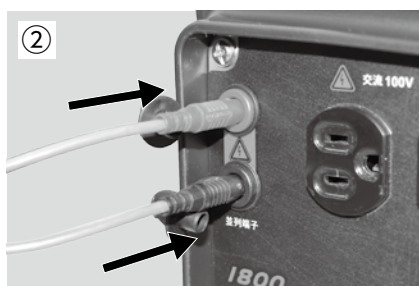
⚠ 警告

- 並列端子の交流電圧は非常に高く、感電すると非常に危険です。濡れた手では絶対に操作しないでください。
- 充電器は屋内でのみ使用してください。湿気の多い場所や高温の場所では使用しないでください。
- 本機に接続した電気製品を接地（アース）をした場合は、本機またはもう一台の発電機もアースしてください。

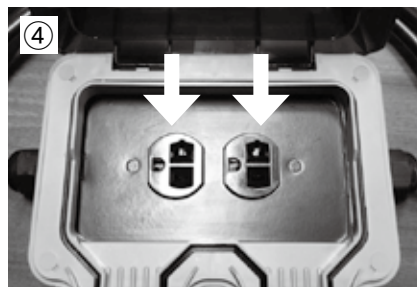
⚠ 注意

- 本機と同じ機種以外の発電機とは並列に接続しないでください。
- 本機の稼働中は並列運転キットを接続したり外したりしないでください。
- 本機を単独で使用する際は、並列キットを取り外してください。
- 動作が遅くなる、突然停止するなどの異常が発生した場合はすぐに電源を切ってください。次に並列運転キットのコンセントから電気製品のコンセントを外し、問題が取り付けしている電気製品にあるのか、または発電機の定格負荷容量を超えているのかの確認をしてください。
- エコスイッチは発電機 2 台で同じ設定にしてください。また、電気製品の定格電力が 2 台の発電機の合計値を超えないようにしてください。
- ほとんどの電気製品は起動に定格出力以上の電力を必要とします。電気モーターの始動の際などは過負荷ランプ（赤）が点灯する場合があります。過負荷ランプ（赤）が数秒後に消灯する場合は正常です。
- 過負荷やショートで発電を停止した際にリセットボタンを押すと、エンジンを再始動することなく出力を元に戻すことができます。リセットボタンを押す前に、過負荷の原因を取り除いてください。エンジンを停止して問題を解決してください。
- 並列運転を停止する際は、本機のエンジンを停止する前に必ず電気製品を外すか電源を【OFF】にしてください。

● 並列運転を開始する

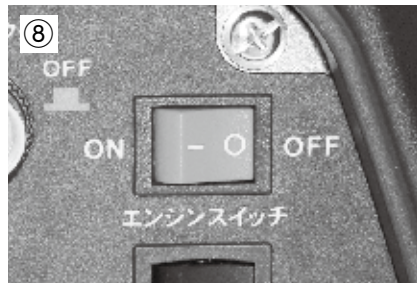
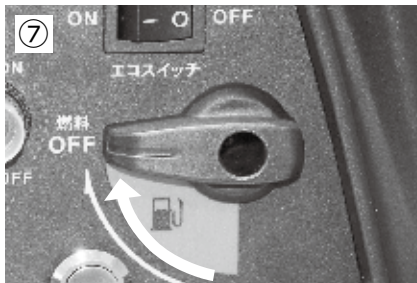


- ① 2 台の発電機からすべての電気製品を取り外すか、完全に電源を切る。
- ② 2 台の発電機の、並列端子の接続口間に並列キットを接続する。



- ③ 2台の発電機を始動し、出力ランプ(緑)が点灯することを確認する。
- ④ 並列運転キットのコンセントに使用する製品のコンセントを接続する。
- ⑤ 使用する製品の電源を入れる。

● 並列運転を停止する



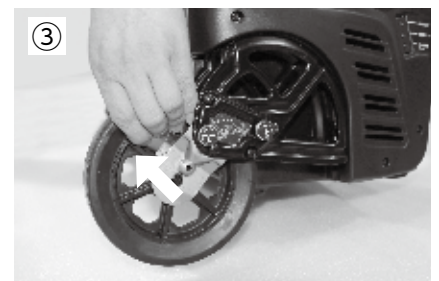
- ⑥ 並列運転キットのコンセントからすべての電気製品を取り外すか、完全に電源を切る。
- ⑦ 燃料コックを【OFF】にする。
- ⑧ エンジンスイッチ(赤)を【OFF】にする。

● 移動と運搬

本機はタイヤなどを装備しており、手軽に移動・運搬ができます。

■ タイヤを引き出す

タイヤを引き出すと地上高が上がり、不整地での移動がしやすくなります。



- ① タイヤカバー中央のつまみ(①のシール)を引き出し、車軸のロックが解除された状態を維持しながら本体を持ち上げるか前傾させる。
タイヤが下りてきます。
- ② タイヤカバー後方のつまみ(②のシール)を引き出し、タイヤのロックを解除する。
- ③ タイヤが、カチッと留まるまでうしろ斜め上に持ち上げる。

■ 牽引ハンドルを引き出す

本機の背面側に格納されている牽引ハンドルを引き出し、伸ばした状態で傾けると、車輪を利用して楽に移動することができます。



- ① ハンドル中央のロック解除ボタンを押しながらハンドルを引き上げる。
- ② ハンドルがロックするまで引き上げる。
- ③ 使い終わったらロック解除ボタンを押し、再びロックがかかるまで押し下げる。

■ 横倒しで運搬する

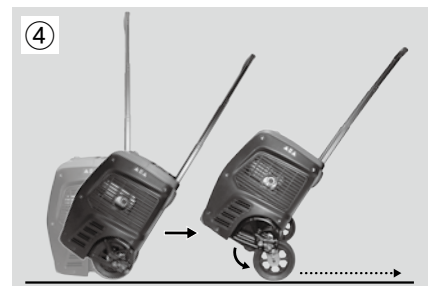
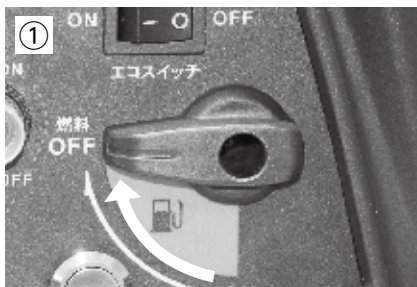
⚠ 警告

- 本体を傾けたり横倒ししたりする際は、事前に燃料コックを【OFF】にしてください。
- エンジンが始動した状態で傾けたり横倒しにしないでください。また、傾けた状態や横倒しの状態でエンジンを始動しないでください。故障やけがの原因になる可能性があります。
- エンジンを冷やす前に燃料キャップのつまみレバーを【OFF】にしないでください。エンジンを十分に冷やしてから【OFF】にしないと、燃料タンク内の圧力によってタンクが潰れてしまう可能性があります。
- 本機のエアー取入口に泥や水が入らないようにご注意ください。前面パネルと背面カバーにあるすべてのエアー取入口を確認し、ゴミや泥が付着している場合は取り除いてください。取入口が塞がれていると、過熱によりエンジン・インバーター等が故障する可能性があります。
- エンジン稼働中はメンテナンスカバーを取り外さないでください。冷却不良によりインバーターやその他の電子部品が損傷する可能性があります。

⚠ 注意

- 本機を絶対に改造しないでください。保証を受けることができなくなります。
- 移動後は下記と逆の手順でタイヤをタイヤカバー内に格納してください。タイヤを出したままだと本体が前傾し、安全に運転できません。
- タイヤが出ている状態で横倒し保管しないでください。車軸に負荷がかかり破損する場合があります。

本機は背面（牽引ハンドル側）を下にする場合のみ横倒しができます。反対側に横倒しにするとオイル漏れ、エンジン等に損傷を与える可能性があります。また、燃料が漏れ火災や爆発を起こす可能性があります。



- ① 燃料コックを【OFF】にする。
- ② エンジンを十分に冷ます。
- ③ 燃料キャップをしっかりと締め、燃料キャップのつまみレバーを【OFF】にする。
- ④ 車輪を支点に横倒しし、移動・運搬する。(必要に応じてタイヤを引き出す)

● スマートフォンアプリ (Gen-mate) を使う

本機は専用アプリ「Gen-mate」を使い、スマートフォンでモニタリングすることができます。

⚠ 重要

- Gen-mate アプリ使用による損害や損失について、当社は一切の責任を負いません。Gen-mate アプリの利用規約に同意した上で、個人の自己責任においてご使用ください。
- Gen-mate をインストールする際に警告メッセージが表示される場合があります。Gen-mate の利用規約に同意した上で「TRUST this APP」をご選択ください。アプリを使用しなくても、本機は問題なくご使用いただけます。

■ Gen-mate をインストールする

iOSはApp Store から、Android はGoogle Play で「Gen-mate」を検索し、ダウンロード・インストールしてください。

■ ユーザー登録／ログインする

インストールが完了したら、ユーザー登録とログインを行ってください。

- ① アプリを開いたら「登録」をタップし、指示に従って必要な情報を入力する。
 - ・アカウント名
 - ・メールアドレス
 - ・新しい認証コード
認証コードはアカウント名とメールアドレス入力後、「コード送信」をタップすると入力したメールアドレスに認証コードが送信されます。
 - ・ログインパスワード (入力・確定)
- ② 「クイック登録」をタップしてユーザー登録を完了する。
次回以降は、登録したアカウント名とパスワードでログインします。



■ アプリに本機を登録する

- ① Gen-mate アプリを起動、ログインする。
- ② アプリ画面下の「デバイス管理」項目をタップし、「デバイス管理」ページを表示させる。
- ③ スマートフォンのWi-Fi機能をONにする。
- ④ 本機を始動し、本機とスマートフォンをWi-Fiで接続する。
 - ・本機のWi-Fi信号は、「EM1800Wi + 製造番号」の名前が付けられています。(例：EM1800Wi 00000000)
 - ・スマートフォンアプリ Gen-mate は、Gen-mate を搭載した発電機に接続することができます。
- ⑤ 画面右上の「追加」をタップする。
「デバイスを削除しました」と表示されます。
- ⑥ 本機のWi-Fi信号項目の「追加」をタップする。
- ⑦ 「新しい端末」ページが表示されたら「OK」をタップする。



アプリに発電機が追加されると「デバイス管理」ページ内に本機が表示されます。

- ・追加されるまでは少し時間がかかる場合があります。



【補足】

- 発電機をリストから削除するには、「デバイス管理」ページから削除したい発電機の項目を左にスライドし、「削除」をタップすることで最終確認後に削除されます。削除後は「履歴」も削除されます。「総稼動時間」のみ削除されません。

- スマートフォンと本機の通信可能な距離は使用環境により異なります。遮へい物のない開けたエリアに発電機が設置されている場合、最大で 100 m を超える場合もあります。
- 本機のモニタリング・制御にはスマートフォンと本機を Wi-Fi 接続する必要があります。アカウントの操作や履歴データを確認する場合はモバイルネットワーク接続や、インターネット接続環境が必要となります。
- Android 端末の場合、手順が異なり、②の次に⑥の操作をする必要があります。

■ アプリを使って本機をモニタリングする

Gen-mate を使って本機の状態を確認することができます。

⚠ 注意

- 燃料残量を正確にモニタリングするには、燃料タンクを満タンにした時点で、モニタリング画面の「リセット」をタップしてください。
- モニタリング結果は、スマートフォンがインターネット接続するとアカウントページ内の「履歴」に蓄積されます。

- ① 本機とスマートフォンを Wi-Fi 接続する。
- ② 「デバイス管理」ページの「モニター」アイコンをタップする。
以下の状態を確認することができます。
「電力」「電流」「電圧」「周波数」「燃料残量」「稼働時間」「総稼働時間」
「燃費」「総燃料消費量」「消費電力」



■ アプリを使って本機を始動する

Gen-mate を使って本機のエンジンを始動することができます。

⚠ 警告

- エンジンを始動する際は、必ずエンジンオイルが正しく充填されているかを確認してください。充填が不十分な状態で始動すると、エンジンが焼き付いて重大な故障となります。
- 本機から排出される排気ガスは有害な物質を含んでいます。エンジンを始動する際は必ず屋外の換気の良い場所で行い、本機のマフラーが作業員や周囲の人に向かないように注意してください。
- エンジンを冷やす前に燃料キャップのつまみレバーを【OFF】にしないでください。エンジンを十分に冷やしてから【OFF】にしないと、燃料タンク内の圧力によってタンクが潰れてしまう可能性があります。

⚠ 注意

- エンジンを始動する際は、燃料コックと燃料キャップのつまみレバーとエンジンスイッチを【ON】にしてください。

- ① 本機とスマートフォンを Wi-Fi 接続する。
- ② 「デバイス管理」ページの「始動」アイコンをタップする。
本機が始動します。



■ アプリを使って本機を停止する

Gen-mate を使って本機のエンジンを停止することができます。

⚠ 注意

- 本機を停止する際は、事前に本機に接続された電気製品を取り外すか、電源を切ってください。

- ① 本機とスマートフォンを Wi-Fi 接続する。
- ② 「デバイス管理」ページの「停止」アイコンをタップする。
本機が停止します。



■ アプリを使ってトラブルシューティングを行う

本機にトラブルが発生した場合、Gen-mate を使って故障診断をすることができます。同じ内容の故障診断を 43 ページの「トラブルシューティング」に掲載しています。

- ① 本機とスマートフォンを Wi-Fi 接続する。
- ② 「デバイス管理」ページの「故障診断」アイコンをタップする。



使用後のご注意

本機を安全に長くご使用いただくために、ご使用後の正しい管理とメンテナンスを行ってください。

- 各部に傷やひび割れ、オイル漏れ等がないかを確認し、異常がある場合は修理・交換してください。
- 長期間使用しない場合は燃料を抜き取り、適切なメンテナンス後、雨風や日光の当たらないところに保管してください。長期保管の仕方は 34 ページの「長期保管について」をご参照ください。
- 保管する際は必ずエンジンやマフラーが冷えてから保管してください。また、近くに可燃物や火気のある場所には保管しないでください。

運搬と保管について

本機を運搬、または保管する前に行う準備の手順を説明します。

⚠ 警告

- ガソリンは非常に揮発性が高く、可燃性と爆発性があります。燃料を補給する際は、絶対に炎や火花を出さず、喫煙もしないでください。給油の際は必ずエンジンを停止し、高温を避けて換気の良い場所で作業を行ってください。
- こぼれたガソリンは清潔で乾いた柔らかい布ですぐに拭き取ってください。そのままにしておくと、塗装面やプラスチック部品が劣化する可能性があります。こぼれた燃料による損傷はメーカー保証の対象外です。
- エンジンを冷やす前に燃料キャップのつまみレバーを【OFF】にしないでください。エンジンを十分に冷やしてから【OFF】にしないと、燃料タンク内の圧力によってタンクが潰れてしまう可能性があります。

● エンジンを冷やす

本機を運搬または保管する際は、事前にエンジンを冷やしておく必要があります。以下の手順でエンジンを停止し、冷却してください。



① 本機の交流コンセントに接続されているすべての電気製品の電源を切るか、または取り外す。



② 燃料コックを【OFF】にする。



③ エンジンスイッチ（赤）を【OFF】にする。



④ エンジンを十分に冷ましてから燃料キャップを閉じ、燃料キャップのつまみレバーを【OFF】にする。

● キャブレターからガソリンを排出する

本機を長期間使わない場合は、燃料を抜いてください。燃料を入れたままにしておくと、キャブレター、燃料ホース、燃料タンクなどのガソリンが接触する部品にガム状の蓄積部が形成され、故障の原因となります。



- ① 燃料キャップのつまみレバーを【ON】にする。
- ② 燃料コックを【ON】にする。
- ③ 前面の5本のネジを緩め、メンテナンスカバーを取り外す。



- ④ ドレインホースを適切な容器にセットする。
- ⑤ ドレインスクリューを反時計回りに緩め、ドレインホースから容器にガソリンを排出する。
- ⑥ ガソリンの排出が完了したら、ドレインスクリューを時計回りにしっかりと締める。



- ⑦ ドレインホースを本体の元に戻し、メンテナンスカバーを取り付ける。
- ⑧ 燃料コックを【OFF】にする。
- ⑨ 燃料キャップのつまみレバーを【OFF】にする。

長期保管について

● 長期保管の際のご注意

1 カ月以上ご使用の予定がない場合は、本機を適切なメンテナンスを行った上で雨風の当たらない場所に保管してください。適切な処理をされない場合、次回使用時に不具合が発生する場合があります。メンテナンス不足や不適切な保管による不具合・故障については保証の対象外となりますのでご注意ください。

● 長期保管の際のメンテナンス

本機を長期保管する際は、以下の手順でメンテナンスを行ってください。

⚠ 危険

● エンジン停止直後は、エンジンオイルが高温になっている場合があります。火傷の危険があります。エンジンオイルの点検は必ずエンジンが冷えた状態で行ってください。

- ① エンジンがまだ暖まっている間にオイルを排出し、推奨のオイルを補充する。
- ② 点火プラグを取り外し、プラグ取り付け穴から約 15ml のエンジンオイルをシリンダーに注ぎ、穴を布で覆う。
- ③ 始動グリップを数回引いてシリンダー内をオイルで保護する。
- ④ 点火プラグを取り付けて締め込む。
- ⑤ 圧縮を感じるまで始動グリップを引く。
シリンダーとバルブの錆が防止されます。
- ⑥ 本機の外装を清掃する。
本機のエアー取入口と開口部にゴミなど遮る物がある場合は、清掃して取り除いてください。
- ⑦ 清潔で乾燥した場所で保管する。
できるだけ室内で保管し、ホコリや汚れから保護するためにカバーをかけてください。

● 燃料タンクからガソリンを排出する

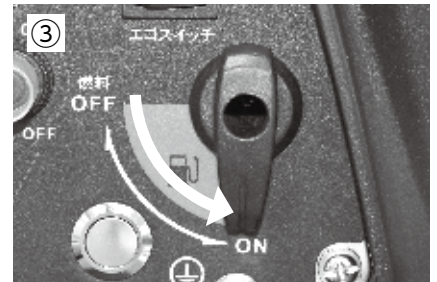
本機を長期保管する際は、以下の手順で燃料タンクからガソリンを排出してください。

⚠ 警告

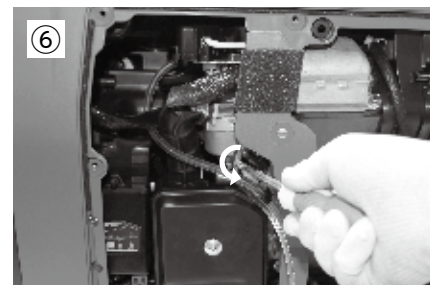
- ガソリンは非常に揮発性が高く、可燃性と爆発性があります。燃料を補給する際は、絶対に炎や火花を出さず、喫煙もしないでください。給油の際は必ずエンジンを停止し、高温を避けて換気の良い場所で作業を行ってください。
- こぼれたガソリンは清潔で乾いた柔らかい布ですぐに拭き取ってください。そのままにしておくと、塗装面やプラスチック部品が劣化する可能性があります。こぼれた燃料による損傷はメーカー保証の対象外です。

⚠ 重要

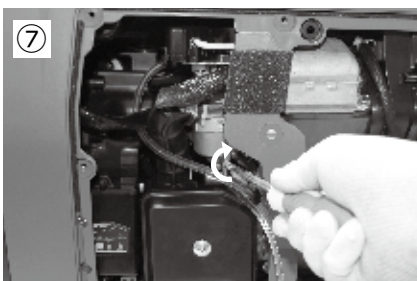
- 燃料をペットボトルなどに入れて保管しないでください。また、ペットボトルなどに入れた燃料を使用しないでください。エンジン故障の原因になります。
- ドレインホースから燃料を排出する際は、燃料キャップを外すか、または燃料キャップのつまみレバーを【ON】にした状態で行ってください。
- 燃料タンク内にゴミや水が混入しないようご注意ください。



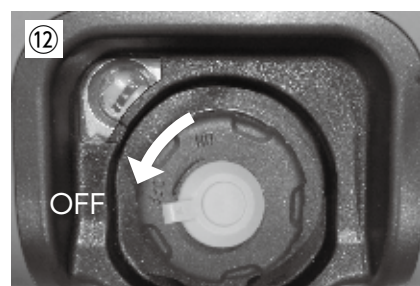
- ① 燃料キャップを外し、燃料給油フィルターを取り外す。
- ② 灯油ポンプ等で、タンク内の燃料の大部分を別容器に移す。
- ③ 燃料コックを【ON】にする。



- ④ 前面の5本のネジを緩め、メンテナンスカバーを取り外す。
- ⑤ ドレインホースを適切な容器にセットする。
- ⑥ ドレインスクリューを反時計回りに緩め、ドレインホースから容器にガソリンを排出する。



- ⑦ ガソリンの排出が完了したら、ドレインスクリューを時計回りにしっかりと締める。
- ⑧ ドレインホースを本体の元に戻し、メンテナンスカバーを取り付ける。
- ⑨ 燃料コックを【OFF】にする。



- ⑩ 燃料給油フィルターを取り付ける。
- ⑪ 燃料キャップを時計回りにしっかりと締める。
- ⑫ 燃料キャップのつまみレバーを【OFF】にする。

メンテナンス

● メンテナンスについて

本機を最適な状態に保つために、定期的なメンテナンスを行ってください。

⚠ 警告

- 本機に取りつけられている保護カバーを取り外すときは、保護されている部分の作動が完全に停止していることを確認してから取り外してください。取り外した保護カバーは必ず元のとおりに取り付けてください。
- メンテナンスを行う前に本書を読み、必要なツールや技術があることを確認してください。
- メンテナンスを行う前にエンジンを停止し、エンジンが始動ができない状態であることを確認してください。
- 部品の洗浄にはガソリンではなく、不燃性の溶剤のみを使用してください。火のついた煙草、火花、炎を本体に近づけないでください。火災や爆発の原因となります。

⚠ 注意

- 部品を交換する際は、弊社指定の部品をお使いください。部品の購入については正規取扱店へお問い合わせください。メンテナンスが行えない場合は、購入した販売店へ依頼してください。
- メンテナンスを怠ると保証できない故障が発生する場合があります。

● メンテナンススケジュール

点検項目		運転時間ごとに点検・整備をする目安				
		作業前毎時	1カ月目または 初回 10時間運転目	6カ月目または 50時間ごと	1年目または 100時間ごと	2年目または 300時間ごと
エンジンオイル	点検	○				
	交換		◎※ 1	○		
エアクリナー	点検	○				
	交換				○※ 2	
点火プラグ	点検			○		
	交換					○
燃料タンク	点検	○※ 6				
	清掃				○	
スパークアレスター (マフラー防爆網)					○	
バルブクリアランス						○※ 3
燃焼室						○※ 3
燃料ホース						○※ 3 ※ 4
バッテリー	充電	3カ月以内※ 5				

※ 1 初回 10 時間でエンジンオイルを交換します。

※ 2 ほこりの多い場所で使用する場合は、より頻繁なメンテナンスが必要です。

※ 3 この点検は専門のサービススタッフに依頼してください。

※ 4 必要に応じて 2 年ごとに交換してください。

※ 5 セルスタート用バッテリーは、本機または充電器を 5 時間以上稼働させることで充電ができます。また、最低でも 3 カ月ごとに充電する必要があります。

※ 6 燃料は必ず購入から 1 カ月以内の新鮮な無鉛ガソリンをご使用ください。古いガソリンを使うと、劣化により点火しづらくなるだけでなく、キャブレター内にタール状の沈殿物を発生させ、エンジンに不具合が生じる場合があります。

● エンジンオイルを交換する

エンジンオイルは定期的に変換してください。エンジンが冷え切る前にエンジンオイルを排出すると、早くきれいに排出することができます。

⚠ 危険

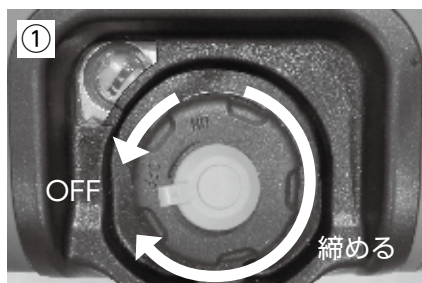
- エンジン停止直後は、エンジンオイルが高温になっている場合があります。火傷の危険があります。エンジンオイルの点検、交換は必ずエンジンが安全な温度に下がった状態で行ってください。

⚠ 警告

- エンジンオイルを排出する前にキャブレター内の燃料を排出し、燃料漏れを防止してください。詳しくは32ページの「キャブレターからガソリンを排出する」をご参照ください。

⚠ 注意

- エンジンオイルを注油する際は、本機を傾けず水平の状態に入れてください。
- エンジンオイルは地域の廃棄方法を確認し、適切に処分してください。不適切な廃棄は環境に害を及ぼす可能性があります。



① 燃料キャップをしっかりと締め、燃料キャップのつまみレバーを【OFF】にする。



② オイルメンテナンスカバーを開く。



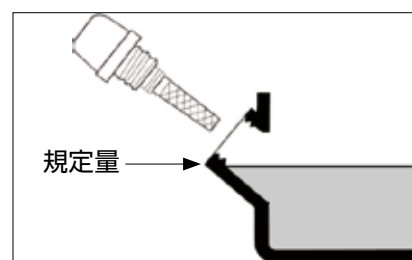
③ エンジンの近くに適切な容器を置き、オイルキャップを取り外して使用済みのオイルを抜く。オイルファンネルを注油口に合わせ、本体を傾けて容器に排出してください。



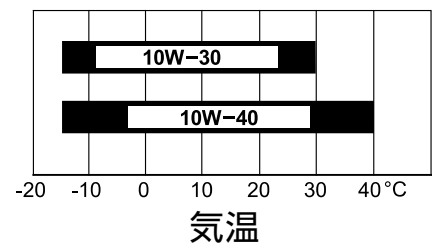
④ エンジンを水平にし、オイルファンネルに推奨オイルを注油口の上限（口切り）まで入れる。



⑤ オイルキャップをしっかりと取り付け、オイルメンテナンスカバーを取り付ける。



オイルの種類	4 サイクル用エンジンオイル (10W-30/10W-40)
容量	0.35L
交換時期	初回 10 時間 / 以降は 6 カ月または 50 時間ごと



● エアクリーナーを清掃する

エアクリーナーは定期的に清掃してください。エアクリーナーが汚れて詰まると、エンジンに燃焼用の空気を正常に送れず、点火不良やエンジン回転数が不安定になるなどの不具合の原因となります。土埃や埃などが多い環境で使用される場合は特に、頻繁に点検清掃を行ってください。

⚠ 警告

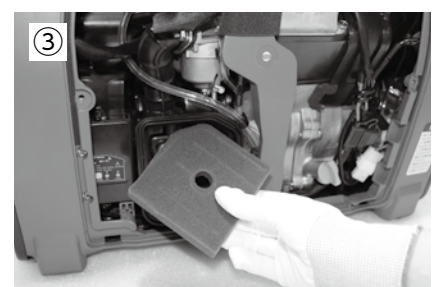
- エアクリーナーの清掃にはせっけん水または不燃性溶剤のみを使用してください。ガソリンや可燃性溶剤を使用すると、火災や爆発を引き起こす可能性があります。

⚠ 注意

- エアフィルターが付いていない、または損傷している状態でエンジンを始動すると、吸気の汚れによりエンジンが急速に摩耗します。この場合の故障トラブルはメーカー保証の対象外となります。

⚠ 重要

- 外したエアクリーナーカバーは確実に取り付けてください。的確に取り付けられていないと、振動でカバーが外れることがあります。



- ① 5本のネジ (写真の○印) を緩め、メンテナンスカバーを取り外す。
- ② ネジを緩め、エアクリーナーカバーを取り外す。
- ③ 家庭用の洗剤と温水の溶剤、または不燃性もしくは低引火点の溶剤でスポンジを洗浄し、完全に乾燥させる。
ボロボロ崩れたり、汚れがひどいときは新しいものに交換してください。



- ④ エアクリーナーとエアクリーナーカバーを取り付け、ネジを締めて固定する。
 ⑤ ネジを締めてメンテナンスカバーを取り付ける。

● 点火プラグを点検・交換する

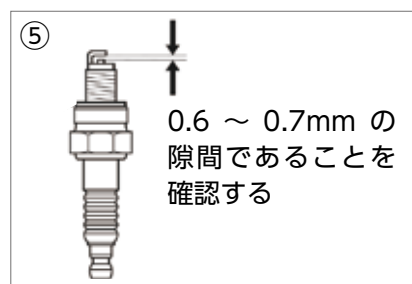
エンジンが適切に作動するには点火プラグに適切な隙間をあけ、カーボンなどの堆積物がないようにする必要があります。

⚠ 注意

- 故障している点火プラグは速やかに交換してください。エンジンが故障する原因となる可能性があります。
- 点火プラグを整備する際は、必ずエンジンが安全な温度に下がった状態で行ってください。
- 点火プラグは必ず規定のトルク、締め方を守って取り付けてください。点火プラグが緩んでいるとエンジンが過熱して損傷する可能性があります、締め込み過ぎるとシリンダーヘッドのネジ山が損傷する可能性があります。

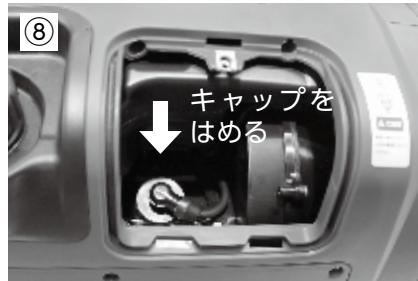


- ① 点火プラグメンテナンスカバーのネジを緩め、カバーを取り外す。
 ② 点火プラグキャップを取り外す。
 ③ プラグレンチを点火プラグに差し込み、反時計方向に回して点火プラグを取り外す。



- ④ 点火プラグを点検する。
 電極の摩耗や絶縁体に亀裂、欠け、汚れがある場合は交換してください。

- ⑤ 隙間ゲージで点火プラグの電極の隙間を測定する。
必要に応じて、調整や点火プラグの交換を行ってください。
- ⑥ 点火プラグシーリングワッシャーの状態を確認する。



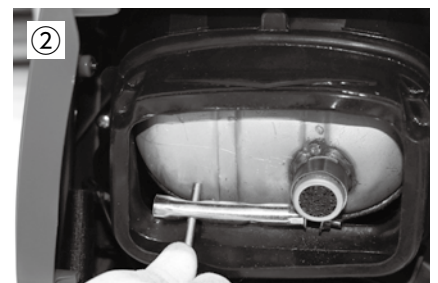
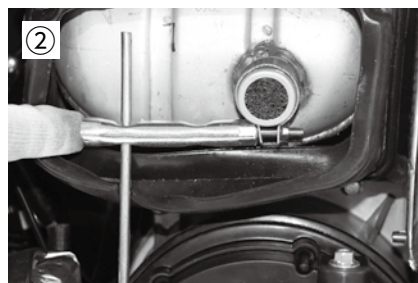
- ⑦ 点火プラグを装着し、プラグレンチで締め込む。
 - ・新しい点火プラグを取り付ける場合は、点火プラグが締め込まれてからさらに1/2回転締め込んでください。
 - ・使用済み点火プラグを取り付ける場合は、手で締めてから工具で1/8～1/4回転締め込んでください。
- ⑧ 点火プラグにプラグキャップをしっかりと取り付ける。
- ⑨ 点火プラグメンテナンスカバーを取り付ける。

● スパークアレスターを点検する

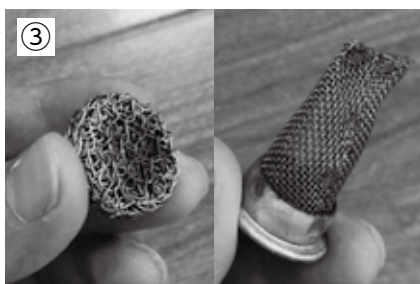
スパークアレスターは排気管からの火の粉の発散を抑制する装置で、火災などを防ぐ役割があります。下記の方法で定期的に点検し、必要に応じて清掃や交換を行ってください。

▲ 注意

- 本機を使用した直後のマフラーは非常に高温になっています。必ず安全な温度に下がってから作業をしてください。
- スパークアレスターは100時間ごとに点検してください。スパークアレスターが詰まるとエンジンがオーバーヒートし、故障の原因になります。



- ① 6本のネジ（写真の○印）を緩め、背面カバーを取り外す。
- ② 付属の六角レンチ（小）を使い、スパークアレスターを固定している六角ネジを取り外す。



- ③ カーボン堆積物が付着してる場合はブラシ等で除去する。
- ④ 破損や裂け目がないか点検し、必要に応じて交換する。
- ⑤ スパークアレスター、背面カバーの順に取り付ける。

● 燃料タンクフィルターを清掃する

必要に応じて燃料タンクフィルターを清掃してください。

⚠ 警告

- ガソリンは非常に揮発性が高く、可燃性と爆発性があります。清掃の際は、絶対に炎や火花を出さず、喫煙もしないでください。



- ① 燃料キャップと燃料タンクフィルターを取り外す。
- ② 燃料タンクフィルターをガソリンで洗浄する。
破損している場合は交換してください。
- ③ 燃料タンクフィルターを拭いて取り付ける。



- ④ 燃料キャップを取り付ける。

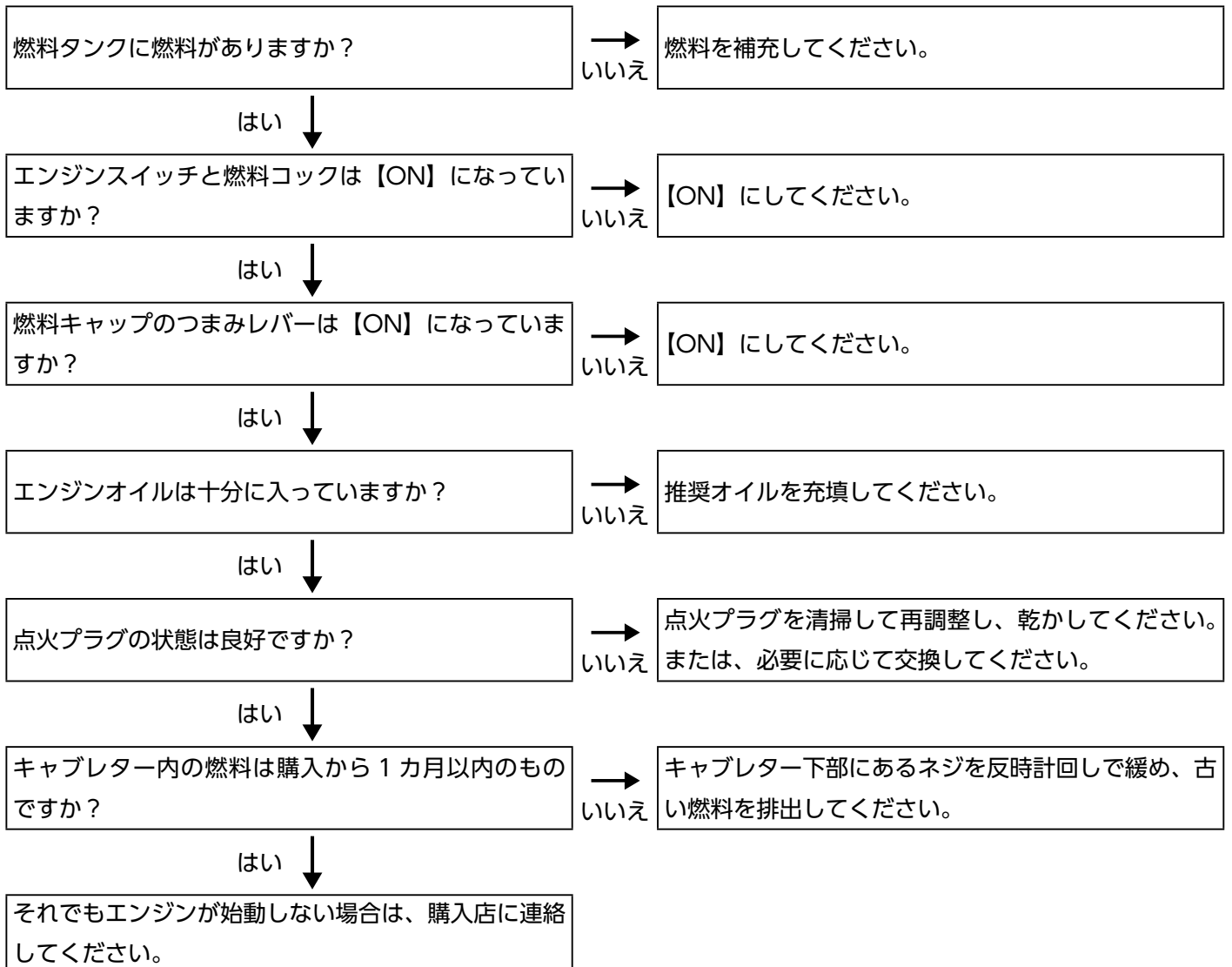
トラブルシューティング

● エンジンに関するトラブル一覧

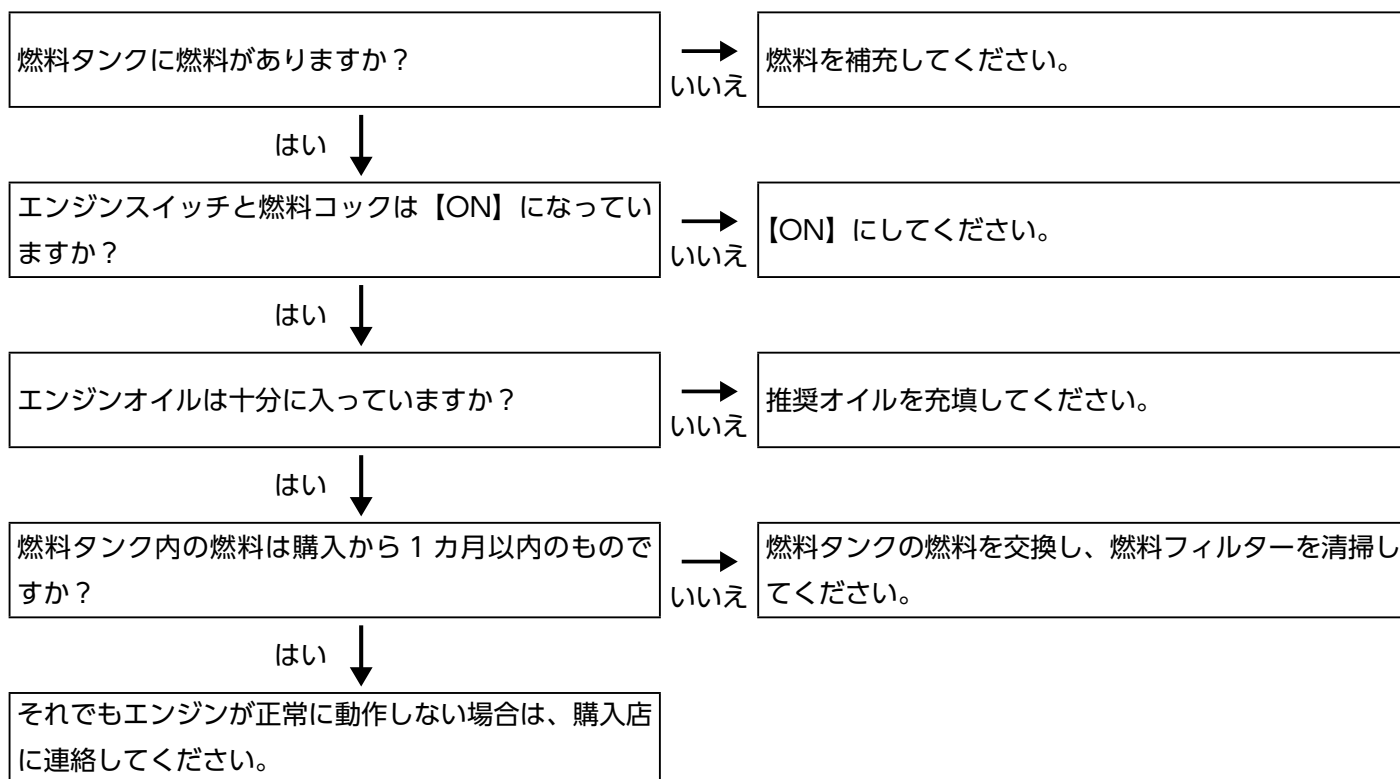
トラブル	考えられる原因	対処例
エンジンが始動しない、始動しづらい。	エンジンスイッチが【OFF】になっている。	エンジンスイッチを【ON】にしてください。
	燃料がない。	無鉛ガソリンを給油してください。
	エンジンオイル不足によりオイルアラートが発生している。	エンジンオイルの量を確認し、適量を充填してください。
	何度も始動グリップを引いた。	過燃料の状態でも何度も始動グリップを引くと、プラグに燃料が被り火花が飛ばなくなる場合があります。その場合は20～40分程度時間を置いてから再始動を試してください。
	キャブレターが詰まっている。	キャブレターを分解清掃してください。ご購入された販売店、もしくは発売元にご相談ください。
	点火プラグにカーボンが蓄積している。	37ページの「メンテナンス」を参照の上、点火プラグを清掃または交換してください。
	間違った操作をしている。	14ページの「使いかた」をご参照のうえ、再度操作を行ってください。
	古い燃料が入っている。	燃料タンクやキャブレターから古い燃料を抜き取り、ご購入1カ月以内の新しい無鉛ガソリンを給油してください。
	エアフィルターが詰まっている。	37ページの「メンテナンス」を参照の上、エアフィルターを清掃または交換してください。
エンジンに力がない。	エアフィルターが詰まっている。	37ページの「メンテナンス」を参照の上、エアフィルターを清掃または交換してください。
	古い燃料が入っている。	燃料タンクやキャブレターから古い燃料を抜き取り、ご購入1カ月以内の新しい無鉛ガソリンを給油してください。
	キャブレターが詰まっている。	キャブレターを分解清掃してください。ご購入された販売店、もしくは発売元にご相談ください。
電流が出力されない。	過負荷ランプが点灯している。	発電中に、接続している電気製品の異常発生や過負荷があると、出力ランプ（緑）が消え過負荷ランプ（赤）が点灯し、電流が出力されなくなります。この場合、異常がある電気製品を取り外すか、または本機の定格出力内の機器を使用してください。
電流が出力されない。	出力ランプが消灯している。	本機の出力よりも多い負荷が高い電気製品を使用すると過負荷状態となり、出力保護回路が働いて発電されなくなります。まず本機から電気製品を取り外し、交流プロテクターが【OFF】になっていることを確認後、リセットボタンを押すかエンジンを再始動してください。

トラブル	考えられる原因	対処例
始動後すぐにエンジンが停止する。	エンジンオイル不足を感知するオイルアラートが作動している。	エンジンオイルを適量充填してください。オイル不足で充填しても始動できない場合は、ご購入された販売店、または発売元にご相談ください。
	発電機の出力以上の電気製品を接続している。	接続している電気製品を外し、エンジンが安定するか確認してください。
	エンジンオイルが減ってオイルアラートが作動している。	始動中にエンジンオイルが不足すると、オイル警告ランプ（黄色）が点灯し、エンジンは自動的に停止します。エンジンオイルが規定量になっているか確認してください。また、エンジンオイルが規定量まで入っていても本機を傾斜させるとオイルアラート機構が作動しエンジン停止する場合があります。エンジン始動中は本機を傾けたりしないでください。
キャブレター・エアクリナー付近から燃料が漏れている。	キャブレターが詰まっている。	キャブレターを分解清掃してください。ご購入された販売店、もしくは発売元にご相談ください。
	キャブレターフロート部の固着によるオーバーフロー現象が起きている。	燃料の劣化や移動の振動などにより、キャブレター内のフロート（浮き）が正常に作動していないので、キャブレターのカップ付近に軽い衝撃を与えてフロートの固着を取り除いてください。漏れが治らない場合はご購入された販売店、もしくは発売元にご相談ください。
始動グリップが引けない。	リコイルスターターの反動機構が破損している。	ご購入された販売店、または発売元にご相談ください。
	エンジンオイルを入れすぎている。	エンジンオイルを規定量以上に給油した場合、燃焼室にエンジンオイルが侵入し始動グリップが引けなくなる場合があります。オイル量を再度確認してください。燃焼室に侵入したオイルは点火プラグを取り外した状態でリコイルを引くことにより排出できます。作業時はエンジンスイッチを必ず【OFF】にしてください。
	エンジンオイルが入っていない、または不足している。	オイルを適量充填してください。改善しない場合はご購入された販売店、または発売元にご相談ください。
異音・異常振動している。	ボルト・ナットが緩んでいる。	ボルト・ナットを増し締めしてください。

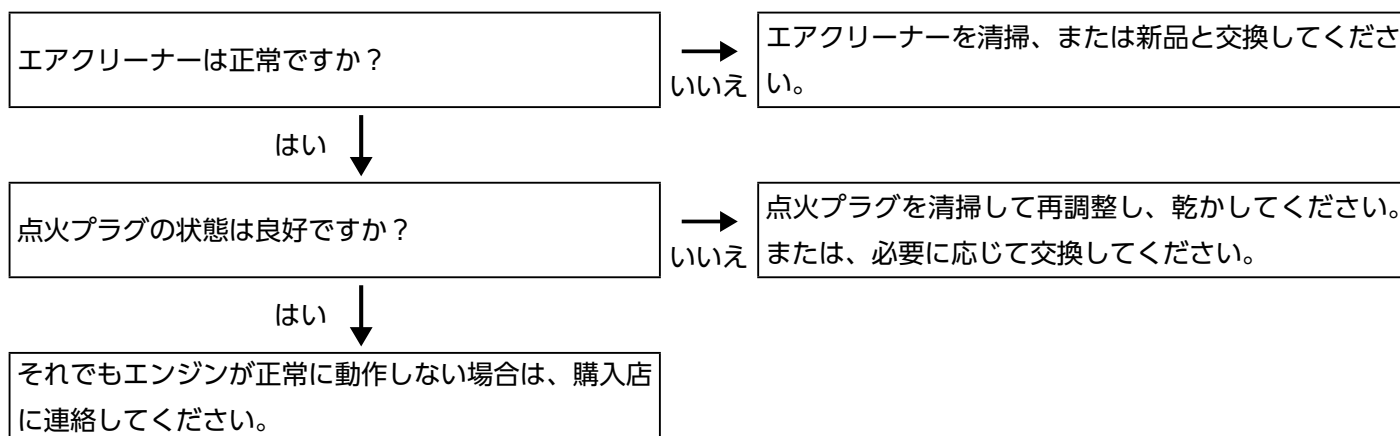
● エンジンが始動できないとき



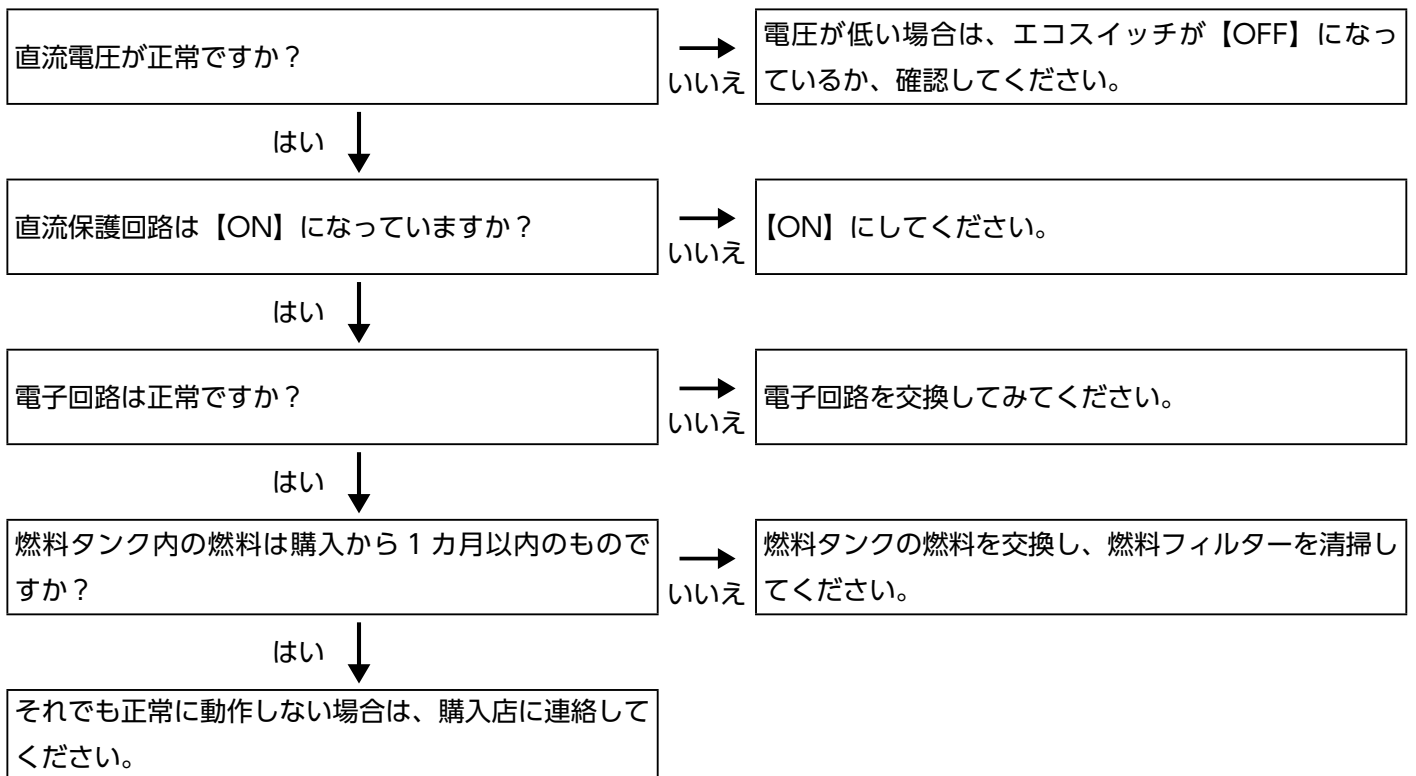
● エンジンが正常に動作しないとき



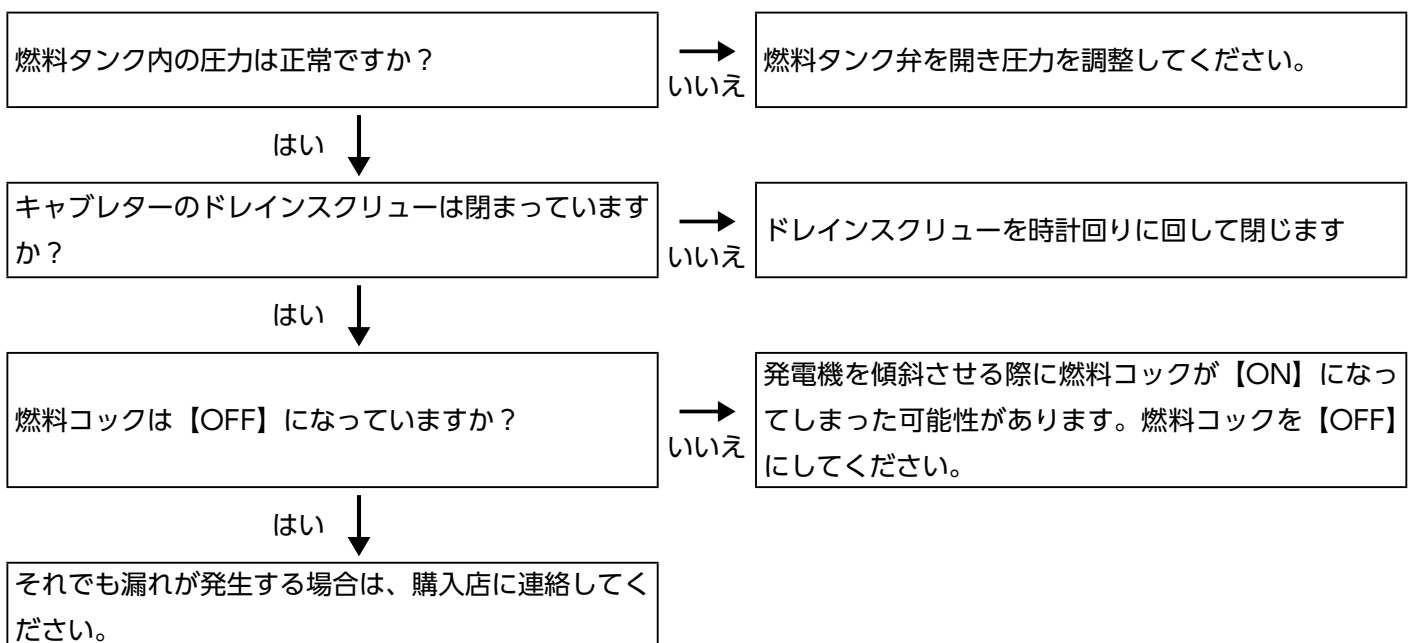
● エンジンの回転数が安定しないとき



● 直流電源が出力されないとき



● ドレインホースから燃料が漏れるとき



本機の仕様

型式	EcoMove 1800	
寸法・重量	全長	530mm
	全高	430mm
	全幅	320mm
	重量	26kg
エンジン	タイプ	4 ストロークガソリン OHV
	冷却システム	強制空冷
	シリンダー配置	単気筒
	排気量	80cm ³
	ボア×ストローク	48.6mm × 43.0mm
	燃料タイプ	無鉛ガソリン
	燃料タンク容量	4.2L
	オイル種類	SAE 10W-30 または 10W-40
	オイル容量	0.35L
	点火プラグ	TORCH A5RTC / NGK CR6HSA
		ギャップ 0.6 ~ 0.7mm
	定格連続運転時間	エコスイッチ OFF 3.5 時間 @ 定格負荷 エコスイッチ ON 8 時間 @ 1/4 定格負荷
	点火システム	CDI
	駆動方式	リコイル / 電動スターター
騒音レベル (LWA)	CE 規格で 4m から 保証騒音値: 92dBA	
交流出力	出力波形	純正弦波、THD < 3%
	定格電圧	100V
	定格周波数	50/60Hz
	定格出力	1.8kVA
	最大出力	2.1kVA (3 秒間)
	安全装置タイプ	電子制御
直流出力	定格電圧	12V
	定格電流	8A
	USB	5V/2A/1A
	安全装置タイプ	DC プロテクター

※実出力値はエンジン回転数、使用環境、メンテナンス状態やその他の条件により変化します。

環境補正

発電装置は標準条件の下で定格出力までの負荷だけをかけることが許される。

この ISO 8 528 のパート 8 に規定する標準状態に適合しない条件の下で発電装置を使用する場合、また例えば狭い空間であるなどの理由のために機関又は交流発電機の冷却が損なわれる場合は、出力を下げる必要がある。温度、高度および湿度が標準状態におけるものより高い場所における使用の場合、使用者にそのために必要な出力の低減について知らせるための情報を提供することが望ましい。

定格電力出力は、次のような標準条件に基づく。

- 高度：0m
- 周辺温度：25° C
- 相対湿度：30%

環境補正係数：

高度 (m)	周辺温度°C				
	25	30	35	40	45
0	1	0.98	0.96	0.93	0.90
500	0.93	0.91	0.89	0.87	0.84
1000	0.87	0.85	0.82	0.80	0.78
2000	0.75	0.73	0.71	0.69	0.66
3000	0.64	0.62	0.60	0.58	0.56
4000	0.52	0.52	0.50	0.48	0.46

⚠ 注意

相対湿度 60% 補正係数 C -0.01;

相対湿度 80% 補正係数 C -0.02;

相対湿度 90% 補正係数 C -0.03;

相対湿度 100% 補正係数 C -0.04;

例)

発電機定格電力 PN =1.8kVA, 高度：1000m, 周辺温度：35°C , 相対湿度：80%,

実効電力 P :

$$P=PN*(C-0.02)=1.8*(0.82-0.02)=1.44kVA$$

サービス・製品保証

● 製品保証について

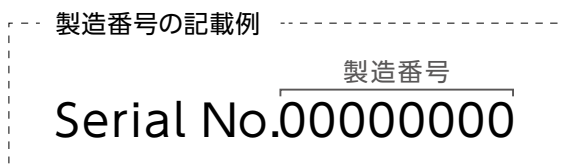
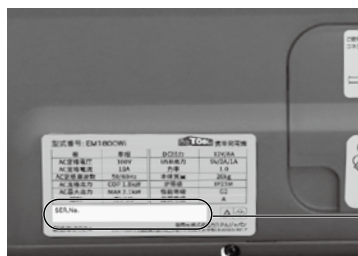
本機には、保証書が添付してあります。詳細については、保証書をご覧ください。

● ご相談窓口について

本機には、保証書が添付してあります。詳細については、保証書をご覧ください。

ご使用中の故障やご不明な点およびサービスについてのご用命は、ご購入された販売店または弊社営業所にお気軽にご相談ください。その際、本機の型式（EM1800Wi）と製造番号・ご購入日等をお伝えください。

● 製造番号貼り付け位置



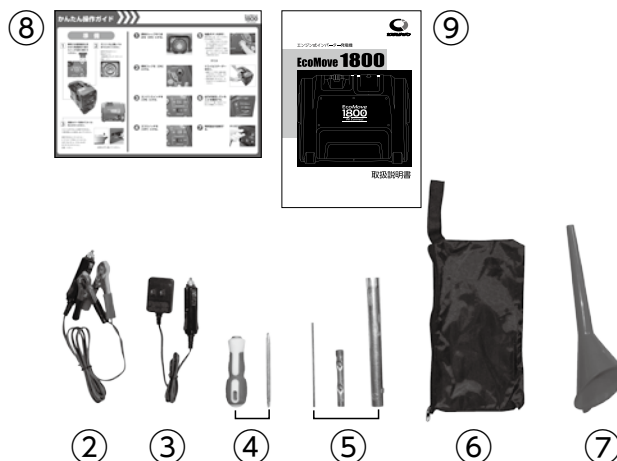
表面下部の型式ラベルに製造番号が記載されています。

● 梱包内容について

本機の同梱内容は以下のとおりです。製品の購入後に開梱していただき、内容物が正しくそろっているかお確かめください。



①



- ① 発電機本体 × 1
- ② バッテリー充電コード × 1
- ③ セルスタート用バッテリー充電コード × 1
- ④ ドライバー（プラス・マイナス兼用）1組
- ⑤ プラグレンチ・六角レンチ・ハンドル 各1

- ⑥ ドライバー・レンチ用ポーチ × 1
- ⑦ オイルファンネル × 1
- ⑧ かんたん操作ガイド × 1
- ⑨ 取扱説明書 × 1

MEMO

A series of horizontal dotted lines for writing.

MEMO

A series of horizontal dotted lines for writing a memo.

MEMO

A series of 20 horizontal dotted lines for writing.

保証内容に関する注意事項

保証書期間内でも次の場合は保証修理の対象外となります。

1. 使用による消耗や経年劣化に起因する不具合（塗装のつや落ち、退色、露出ゴム部のひび割れ、摩耗部品等）
2. 一般的に機能上影響がない、単なる感覚的現象（一般的なオイルにじみ、微振動、エンジン音等）
3. 試運転による傷や塗装の落ち、製造上の仕様による、使用に支障のない程度の歪みや傷等

保証書期間内でも次の場合は有料修理となります。

1. 本書記載の使用方法、保守点検、注意事項などを守らなかった場合の損傷
2. 使用上の誤りや不当な修理や改造・分解による故障および損傷
3. 本書が示す仕様の限度を超える使用（最高出力等）に起因する不具合
4. 弊社が指定する油脂類以外の使用に起因する不具合・故障
5. ご使用者の不注意・操作ミスによる不具合・故障
6. お買上げ後の落下、運送等による事故および損傷
7. 火災、地震、水害、落雷、台風、雪害、その他の天変地異、異常電圧による故障および損傷
8. 車体、船舶への搭載で使用された場合の故障および損傷
9. 本書の掲示がない場合、本書にお買上げ年月日、お客様名、販売店名の記入がない場合・あるいは、字を書き換えられた場合
10. 日本国外への持ち出しをした場合、また、それ以降の使用や故障および損傷
11. 本製品を使用できなかった場合による不便、損失等（休業損失、商業損失、代替品、レンタル費用等）
12. 正常使用することで消耗する部品（オイル・プラグ・オイルシール・バッテリー・グリス等）の交換・点検・補充費用等

保証修理の場合でも以下の費用は対象となりません。

1. 使用により消耗した部品および油脂類の交換補充の費用
2. 点検、清掃、調整および定期点検費用
3. 製品を使用できなかったことによる損失等（電話代、レンタル代、休業補償、商業損失等）
4. 保証書に示す以外の費用、保証等

保証書期間内に、取扱説明書等の注意書きに従って正常な使用状態で使用していて故障した場合は、お買上げの販売店に本書をご提示の上、点検、修理をご依頼ください。

本書の再発行は致しませんので大切に保管してください。

保証書			
保証期間	お買上げ日から 12 カ月 ※業務使用の場合は保証対象外となります		
型 式	インバーター発電機 EcoMove1800	お買上げ日 ※商品出荷日起算	年 月 日
お客様	ご住所： 〒		
	お名前		
	お電話		
販売店	住 所： 〒		
	お名前		
	お電話		

●オンラインでのご購入は商品の注文番号や納品書（再販商品は対象外です。）

●店舗でのご購入はレシートや領収書などの明細書。

製品保証の際、上記の購入証明が必要となります。購入日が証明出来ない場合は製品保証の対象外とさせていただきます。予めご了承下さい。

注1)保証書に記載がない場合は無効となりますので必ずご確認ください。注2)本書は日本国内においてのみ有効です。注3)業務使用とはレンタル・リース用、専門業者を含む業務上の場合を対象としています。

発売元

株式会社カスタムジャパン

〒577-0814 大阪府東大阪市南上小阪 9-5

お問い合わせ先：☎ 06-6563-9317